京城日報
十八日夕刊
本紙定價　一部金二錢五厘　一ケ月金五拾五錢　三ケ月金壹圓六拾五錢　六ケ月金參圓貳拾錢（郵送料前金）
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別指定一行金壹圓貳拾錢　▲欄外一行金壹圓
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用　三五四番　營業用　二二六番　振替貯金口座　京城　三〇〇〇番

○市俄古銀行の對支貸附

華盛頓來電＝駐米支那公使は今回市俄古のコンチネンタル、コムマーシヤル銀行が支那に金貨五百萬弗の貸附を承諾したる旨發表したるが年限は三箇年にして擔保として或る稅金を提供したり同借款の詳細及び使用の目的に關しては何等の發表なし（紐育電報）

○ヴ井ラ刺されんとす

墨西哥在住一日本人叛將ヴ井ラを刺さんとして果さざりしとの說あり（紐育電報）

○駐墺獨大使チ伯死す

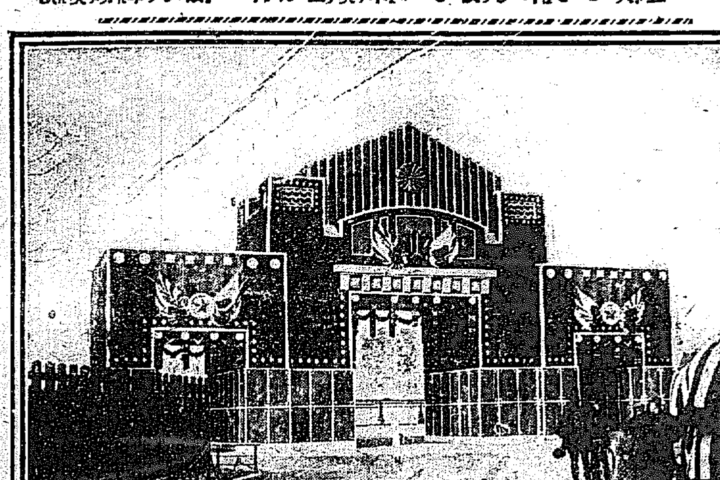
維也納來電＝歐洲大戰爭を誘起したる當面の人物なりとせらるゝ駐墺獨逸大使チユイルシユキー伯は過般腹部手術後經過不良にて十五日終に死亡せり（紐育電報）

○アンクル戰勝と英紙

アンクルに於ける英軍の勝利に關し倫敦タイムスは社說に於て曰く此の勝利はソンム戰鬪否恐らく全體の戰爭中最も美事なる成功の一なる可し而して此の戰鬪に關する敵の報告は意外にも事實の無慘を述べ毫も隱蔽する事なし之れ多分獨逸が新に募兵計畫を實行せんが爲め其の論據に資せんとするものなるべしアンクル勝利の敎訓は獨逸が當に敗北せんとする瀬戸際に來りたりと言ふにあらずして戰爭は愈々關ケ原となり各聯合國民は凡ゆる努力を惜む可らざる點に達せりと言ふ事之なり（倫敦電報）

□九州特別大演習　大宴會

特別大演習觀兵式の終りたる十五日の午後三時よりは更に大演習大宴會を福岡築港埋立地に於て催されたり會場は海岸に面せる廣さ九千坪の敷地に天幕張り二千百坪の大建物にして中央玉座を要として扇面の如く八棟の天幕張りを設らへ玉座の周圍は綸子の幔幕を圍らし天井よりは紅白の幕を垂れたるが陛下には午後三時正門車寄に降り立たせ給ひ『君ケ代』の奏樂裡に入御遊ばされ菊花薫る卓上にては親しく玉杯を把らせ給ひたるも畏くもまた伏見閑院兩宮殿下を始め參加師團將校、統監部員、陪觀武官、外國武官、貴衆兩院議員、縣市會議員等約四千七百人も盃を擧げて聖壽の無窮を壽き奉りたり斯くて陛下には同三十分といふに諸員最敬禮『君が代』の奏樂裡に大本營御還御茲に全く大演習の式を了れり（金谷特派員發）



大演習後の大宴會場
—アーチ—

○英國の船腹急造

英國にては船腹の不足を補充する爲半箇年間に二百五十萬噸を急造すべく目下計畫中なりと（紐育電報）

○首相御陵參拜

十七日入洛せし寺內首相は十八日桃山御陵に參拜せり（大阪特電）

○鳳輦　大阪御通過

大元帥陛下には十八日午前九時須磨御發輦同十時十五分大阪驛御通過遊ばされたるが驛には師團長以下奉迎者頗る多し（大阪特電）

○林公使の演說　奉天十七日會にて

奉天に於ける日支社交機關の十七日會は十七日明會林公使白仁民政長官國澤滿鐵副總裁及び支那側より張作霖督軍以下五十餘名出席林公使は日支人雜居の結果支那官憲の力に倚る事最も多し今後正義を以て交はるべしとて兌換問題に就きて正當の解決を希望し張督軍は余は初めて此の會に出席したりとて日支親交の實現には虛僞を除去せよと喝破せり林公使は同夜八時大連に向け出發せり（奉天特電）

○本野大使通過

本野大使夫妻は十八日午前六時十分滿鮮列車にて釜山着同四十分壹岐丸にて內地に向へり（釜山特電）

○萬里小路伯　朝歸

貴族院議員訪露團中露都に殘留せし萬里小路伯は本野大使と同行東上せり（釜山特電）

○石塚東拓總裁

石塚東拓總裁は十八日夜釜山發聯絡船にて東上すべし（釜山特電）

○觀戰兩中將　著發

大演習觀戰の爲め出張中なりし立花古海兩中將は十八日朝入港の高麗丸にて釜山着同十時三十分發列車にて歸任せり（釜山特電）

▲古海警務總長　古海警務總長は十七日午後九時歸任の筈なりし所俄に旅程を變更して一日遲延し釜山電報の如く十八日午後九時南大門驛著歸任す可しと

○松浦少將一行

松浦少將及び吉田大佐は十八日朝內地より釜山着同十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

○總督邸午餐會

山縣政務總監は十八日午後零時三十分より入京中なる伯國サンパウロ州前農務長官ドクトル、バルロス氏同夫人令孃等一行を總督官邸に招待午餐會を開けり總督府よりは荻田總務局長夫妻、秋山外事課長夫妻、遠藤秘書課長夫妻、藤田參事官夫妻、菱田通譯官夫妻等亦出席したり

○長官事務引繼

十七日夜入京せる東拓囑託川上常郎氏は十八日午前總督府に出頭し後任藤川平北道長官との間に平安北道長官事務の引繼ぎを行なひたり會社には二十日より出社すべしと

○關屋局長出發

兵庫縣武庫郡住吉村に滯在病後靜養中なりし關屋學務局長は文部省と事務打合せの要務を帶び十八日東上

○土木局長出張

土木局長持地六三郎氏は築港並に土木事業視察の爲め二十日京城出發元山及び永興方面に出張の事となれり

○芳賀博士北鮮行

總督府醫院長芳賀博士は北鮮地方視察の爲め十七日午前九時五十九分往十里發元山に赴きたり

○澤田課長出張

內務部第一課長澤田豐丈氏は內務省と事務打合せの爲め十八日朝南大門驛發汽車にて東上の途に就けり

○辭令

十五日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府道事務官　慶尙北道第一部長　入澤重麿
京畿道第一部長を命ず

○吉原家へ弔電

東洋拓殖會社には東上中の二宮秘書役より前東拓總裁從三位勳二等吉原三郞氏十七日午前二時薨去せる旨電報ありしが會社としては東上の途にある石塚總裁より弔電を發せしなるべく又社員一同としては十八日弔電を發したりと

▲故吉原氏の葬儀　東京　麴町區一番町十五番地に於て薨去せる前東拓總裁故吉原三郞氏の葬式は十九日午後二時青山祭場に於て執行す可しと

○憲兵隊異動　發表

十一月十五日附を以て朝鮮駐箚憲兵隊に左記の通り異動發表ありたり

朝鮮駐箚憲兵隊長憲兵中佐　神田長平
公州憲兵隊附を命ず
朝鮮駐箚憲兵隊憲兵大尉　阿久井颯巳
海州憲兵隊附を免じ義州憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　佐藤淡二
平壤憲兵隊附を免じ海州憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉子爵　久松喬
平壤憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　次田的二郞
鏡城憲兵隊附を命ず
同憲兵大尉　長谷川巖
義州憲兵隊附を免じ晉州憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　黑田實太郞
春川憲兵隊附を免じ義州憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　仙波五一
平壤憲兵隊附を免じ春川憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　坂本留市
晉州憲兵隊附を免じ平壤憲兵隊附を命ず
同憲兵中尉　池田留吉
春川憲兵隊附を命ず
朝鮮駐箚憲兵分隊長陸軍憲兵大尉　三雲一
同　神津久米作
免本職

▲齋藤中佐待命　忠淸南道警務部長陸軍憲兵中佐は十一月十五日附辭令を以て待命被仰付たり

▲兩中尉進級
朝鮮駐箚憲兵隊附陸軍憲兵中尉　神津久米作
同　樋上佐吉
任陸軍憲兵大尉

○四十旅團異動

駐箚軍大邱步兵第四十旅團佐尉官の異動を聞くに步兵第四十旅團副官神尾直治少佐は中佐に進級し步兵第六十聯隊附に轉補步兵第七十九聯隊王丸周太郞大尉は少佐に進級步兵第八十聯隊附に轉補步兵第七十九聯隊附飯田應助大尉は少佐に進級步兵第三十六聯隊附に轉補步兵第七十九聯隊附中內啓二大尉は少佐に進級現職の儘步兵第八十聯隊附坂井寅吉大尉は少佐に進級せり

○忠南長官披露宴

上林忠南道長官は十五日午後六時より官邸の庭に於て公州の重なる內鮮洋の官民六十餘名を招待し著任披露の宴を張りたるが丁重なる長官の挨拶に對し來賓一同を代表したる花田地方法院長の謝辭ありて主客歡を盡し九時頃散會したり又た同長官は二十二日より十日間の豫定を以て靑陽洪城保寧舒川論山の各郡を巡視し十二月一日歸任の筈（公州）

○慶南長官巡視

佐々木慶南道長官は十六日海雲臺溫泉を視察せし後東萊溫泉に至り一泊十七日午前梁山に赴き三郡聯合品評會に臨み勿禁に引返して馬山に到り十八日馬山より自動車にて晉州に歸任の筈（釜山）

○隈部警務部長歸任

京畿道警務部長隈部大佐は松尾特務曹長其他を從へ過般來管下の各郡を巡視中なりしが十七日夜歸任せり

○入澤第一部長著任期

京畿道第一部長に任ぜられたる入澤重麿氏は本月二十日頃著任の筈なりし處家族中に病者を生じたるため兩三日遲れ廿三日頃著任のことゝなりたり

●堀江課長東上　東拓堀江庶務兼計算課長は目下東拓臨時總會開會用務の爲東上中なるが總會終了後直に歸任すべしと

○松永長官微恙

松永京畿道長官は微恙の爲め十八日自宅に引籠中なりと

●境警視病狀　輕症腦充血症に罹り自宅靜養中の境警視は其後病勢漸く衰へ意識明晰食慾平日に異る所なく言語又平常と異る所なきも未だ步行出來ず立てば直ちに眩暈を起すと要するに逐日輕快に向ひつゝありと

○利川各面聯合品評會

既報の如く京畿道利川郡內に於ける各面聯合の農產品評會は長湖院に於て十三日より十五日迄開會したるが十四日には松永長官列席して褒賞授與の式を行ひたり出品點數三百二十二點の內六十九點に對して賞狀を授與したりと

○學校增築落成式

京畿道水原郡安寧學校組合安寧尋常小學校にては十九日午前十一時より增築落成式を擧行すべしと

○仁川上半貿易

仁川に於ける本月一日より十五日迄の貿易は昨年同期の輸移出五十二萬五千圓輸移入四十五萬三千圓に比し輸移出に於いて約五割減輸移入に於て三割增を示せり而して之れを輸移出に見るに米穀の出廻りは時候の關係上前年より約半旬の遲緩を見たると一は地方農民が前途を樂觀して賣放したる爲め廻著多からざる爲め輸移出高半減したるなる可く又輸移入にありては經濟界の回復に依り好況を呈し約二倍の輸移入超過を來すべく觀測されつゝあり併し乍ら本月下半に至らば廻著米の最盛期に入るを以て輸移出額は上半月の不況を補ひ全月を通じては輸移出額の輸移入額に超過するは喩かなるべし

平壤より啓上　閑洋生

義州と平壤との氣溫は、外套一枚以上の相違あり。義州の寒さは、全く滿洲風の吹き荒ぶに依る。大同江の淸流は、何時來て見るも、心地好し。只今の平壤は、補助貨の拂底甚しく、爲に商取引も、不振を呈せりとて、人々憂色あり。朝日一個を求めんとし、十錢銀貨を出せば釣錢なしとて、賣渡さゞる有樣なり。寄ると觸ると、補助貨飢饉を歎じ居れり。氣早の商人は他より補助貨を仕入來り、高分の手數料を取り、兩替をなして喜び居れり、淘に世は樣々にて、笑止也。平壤に於ける、目下の問題は、例の砲兵工廠支廠の件にて、委員を上京させるとか、運動費とかに、二千餘圓の寄附金も、出來居る由に及聞べり、然るに我社會中に、反對ありと傳へてより、東京電報が、工廠設置に對し憲政大分驚きたる模樣にて、十六日なれり、運動も之より、熱度を加へ來らんか。大同江の沙が、セメントの原料として、頗る良好なりとは、既により及聞居たるが、仄聞する處に依れば、愈々淺野セメント會社が、多額の資金を投じて江岸に、セメント製造所を設立すべしと。鎭南浦に、三菱製鐵所出來、兼二浦に久原精錬所あり、寺洞に、無盡藏の石炭を產し、大同江の水利は思ふ儘也。翼ば平壤が將來朝鮮のマンチエスターたらん事を。

○仁川石炭拂底

工業界の活況に伴ひ一時二割方の操業短縮をなしたる九州炭は二箇月前より此れを撤廢し熾んに採炭しつゝあるが需要さへ至れり其結果朝鮮よりの注文は値段の奈何に拘らず應せざる有樣にて門司若松等に於ける貯炭場の如きは各地よりの買注文に空前の活氣を呈し供給力の不足を訴ふるに旺盛にて例年三四千噸の貯炭を有する仁川も十六日現在三四百噸に過ぎざる有樣にて目下撫順炭に獨占せられつゝあるが最近に至り山東省炭市場に現はれたるを以て九州炭の不足も此等に依り補はれ居れり相場は九州炭十一圓二三十錢山東省炭十一圓內外撫順炭九圓七八十錢にて船腹の不足は賃率に影響し入電每に騰貴を報せられつゝ有る狀態なれば今後石炭相場は吊上る一方ならんと（仁川）

○明治公債幹部會議

昨年來朝鮮に於て著しき發展をなせし明治公債株式會社は去八月より滿期者に對し現物公債交付しつゝあり社長林廣運氏は本社滿鮮事業及び鐵道協會理事として視察を兼ね宮川滿洲支部長を從へ十六日入京し朝鮮各地の出張所長以上を京城に召集し鮮滿事業經營に關する幹部會議を開催せりと

◎迎日水利組合訴訟　慶北迎日水利組合水揚灌漑場の工事を請負ひし浦項吉田俊藏氏は今回同組合を相手取り大邱森島辯護士の手により五千三百圓の損害及び三千五百圓の工事費合計八千八百圓の損害賠償訴訟を大邱地方法院に提出せり（大邱）

平壤

▲原野貸下　平壤府に於ては傳染病隔離病舍新設敷地の埋沒所に使用の目的にて平南大同郡古平面西城里所在原野三千五百二十二坪を道廳に貸下げ出願中の處去る十六日附を以て許可されたり

▲保護牛規則實施　平安南道は總督府令保護牛規則實施を十月二十五日より十一月八日迄十五日間第一著手として陽德郡に於て檢牛をなしたるが任分府道令の周知方に付て當局に於ては憂慮せし處なるが郡當務者の周知の方法綿密なりしため反て保護牛檢查を歡迎し保護を受けんとするもの宛然品評會に於ける入賞の競爭を見るが如き感ありて出場牛頭數陽德全部を通して三千五百十三頭の多數に上り保護牛の選定に付て些の困難を感ずる事なく豫定頭數たる九十五頭の保護牛指定を全からしめたり特に檢查の方法に付ては畜產に關し飼養六十四枚圖解二十四枚牛皮標本新畜鞍家畜醫療品器械標本等を各面檢查場に陳列し實物に付き各種の講話を道畜產技手試みたる結果一般農民に多大の感興を以て迎へられ非常の好成績を見たり

▲鼻疽發生　平安南道大同郡古平面西城里金泰鉉の所持牡馬一頭鼻疽に罹り居るを發見直ちに撲殺したり

群山

▲近海漁況　朝鮮水產組合全北支部調査に係る十月中群山近海漁況を聞くに十二東波島於靑島古群島附近に漁撈せる鯛延繩漁船は廣島九隻熊本五隻群山二十二隻計三十六隻にして漁獲高は鯛一萬四千五百尾價格三千六百圓にして一隻の平均五圓の水揚を得て前年同月と大差なく竹島古群山島附近に漁撈せる鯛延繩漁船は群山五隻にして漁獲高は鯛六百尾價格三百圓鯛二百尾價額五十圓にして一隻の平均七十圓の水揚を得たるが前年同月に比し七八分の好成績を收め與島附近四手網漁撈漁船は佐賀三隻にして漁獲高はイナ三千尾價格百零五圓エビ三十貫三十圓にして一隻の平均四十五圓の水揚を得て前年同月と大差なく復た於靑島開也島古群山島近海に漁撈せる鮮人石首魚從漁船は全北五十隻にして漁獲高は石首魚十萬尾價額二千圓一隻の平均四十圓の水揚を得たるが漁況は前年同月に比し稍々不良なりしと

大邱

▲琴湖立毛品評會　永川郡琴湖面地方改良組合には頃日來立毛品評會開會中なりしが愈々十九日午前九時より琴湖小學校內に於て是が褒狀授與式を擧行す郡廳道より長官代理として技師臨席せり▲大邱繰綿工場開業式　大邱七里町に於て鈴木商會は大規模の陸地棉繰綿工場建築中の處今回工事竝に機械器具据付裝置竣成を告げたれば十九日午前十一時同所に於て官民有志數十名を聘し開業式を擧行す▲入澤第一部長送別會　今回入澤慶北第一部長は京畿道第一部長に榮轉されたるに付大邱官民有志は二十日午後七時大和に於て盛大なる送別會を催す▲永川在鄉軍人發展　慶北永川在鄉軍人會は一昨年創立以來著々其基礎を固めつゝありしが今回鮮人をも加入せしむる事となり十五日まで十數人の加入者を見又基本金として鮮人側より百圓の寄附あり在永川文明琦氏は鮮人側特別會員に擧られ同氏よりも金十圓を寄附せり

人事消息

▲赤井定義氏（大邱覆審法院檢事）十九日入京天眞樓に投宿の豫定
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）十八日朝退京
▲服部慶北警務部長　目下出張中なるが二十三日頃歸任の筈
▲富田儀作氏　▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦實業家）十七日夜釜山發八幡製鐵所へ
▲慶南經理部長　二十日大邱より歸任の筈
▲三浦末喜氏（辯護士）十八日朝開城へ出張同夜歸京
▲王丸周太氏（步兵少佐）第七十七聯隊附補に付近日釜山より平壤へ赴任の筈
▲荻原彥三氏（總督府試補）十九日水原へ出張

●展望車中の大使夫人

巴里流行の粋を凝らした軽やかな旅装

子爵の傍に腰を下ろしてスコッチの編針を動かし乍ら「朝鮮の林檎は高加索のに似てますね」

氣にかゝる愛犬のこと、平壌のプラツトフオームを散歩させて一安心

十七日夜京城を通過して南行した鮮滿急行列車の特別車には本野大使夫妻が乗つて居た。露西亜に在る事前後十年外交官として功成り名遂げて歸朝の上は寺内

■内閣の花形役者

たる外務大臣の要職に就くべく露都を發して以来西伯利亜線より特急線、南滿線、夫れから京義線と最大急行に身を託して乗り續けたにも拘らず大使の元氣は非常なもので汽車が安東驛を出て新義州に著く頃には展望室の大卓子の前に端然と背廣、ソフトカラの寛濶な旅装にていと悠然と腰掛けながら

■青い表紙の本を

繙いて居た、それは獨逸の軍國主義鼓吹者で有名なベルンハルディー將軍の著書『人の將來』の佛語譯であつた、餘程新聞の記者攻撃には懲りて居ると見えて大使は記者の顔を見るたり、外交官を避難して話をさせるものではない、話をさせるにも程がある、僕に向つて對支政策はどうだなど

■亂暴な質問を發

する人もあつた、そんな事が話せるもんぢやない、露西亜の事だつてさうだ、迂闊り機密でも洩さうものなら直ぐそれが亞米利加を經て獨逸に知れるぢやないか、僕は東京へ歸つたら外交關係の記者諸君と會見の機會に充分和談をして貰ひたいと思つてるなど、早速通譯をして記者を煙に喰はす、ドロウイングルームに大使令夫人はと見廻せども

■引籠つて却々姿一

を現されない、午後の三時過平壌を通つた頃に漸く展望室に其姿を見る事が出来たが、四十幾歳と云へばお若い方ではないが、何が扨て巴里の外交界露都の社交界で磨かれた丈けに且つは巴里流行の粋を凝らした軽い旅装だけに打見ては

■二十歳もお齢が

お若いやうで『どうも皆さま失禮致しました、長旅行には馴れてるのですが昨夜は少しスチームが暑過ぎましたので、つい氣分が惡くて只今まで臥せつて居りました、エヽもうすつかり元氣になりました』と快い愛嬌を人々に與へつゝ子爵の傍に掛けスコッチの編針を動かし乍ら窓外の景色を打眺め

■『朝鮮に參ります

と餘程内地らしくなりますね、殊に此の空は何といふ青い空でしよう、露國に居れば最う冬空で曇り勝ですが、澄んだ空に月が出たら嘸美しい事でしようね』と頻りに朝鮮にお世辭を蒔かれると傍の大使は『最う暫らく露西亞の田舎で愉快な獵も出來ないな、朝鮮は相變らず盛んに獵るでしよう』と例の遊りを眺め廻す、居合せた

■鷲尾參事が雉子

打ちの話をする。そのうちに夫人の命で紅茶が出る、一人一人に林檎を進めながら夫人は、此れは朝鮮の林檎ですか、高加索の林檎に似て大變好味しいと思ひますなど言ひ乍ら白い手で皮を剥かれる、大使は從者を呼んで犬はどうしてると聞く、平壌で散歩をさせたと云ふので安心したらしく室内に連れさせたのが逞ましげなブルドッグと

■ボインタアの二疋

で何れも元氣に卓子の下をのそくり廻る、大使は露西亞語で御坐れと命じながらトーストを割いて與へる、秋山參事官が開城まで出迎へると聞いて夫人は『秋山さんには異國に暫らくです、彼の方はまだお酒を召上るですか、矢張り召上るでしようね』など聞いて居られた、

■露西亞の婦人界

は如何ですかと質問を發したら『ハア彼國では大變皆さんに御世話になりましたので何しろ長く居ましたので出發の折などは御暇乞ひでもう夜も日もありませんでした』と御主人流に國際間の事は話を外らされる、一人の大使は何と思つたか記者に『君朝鮮の米は露國で非常に受けが良いです、先達も

■朝鮮米の輸入が

あると云ふので大變期待されて居たが、其後朝鮮内で値が上つたとかで中止になつたので急に信用が落ちた、彼んな事では困る、常時計畫した人達はどんな積りだつたのか、今少し眞面目にやらんと非常な不利益だ』と慨嘆して居る、時も時開城から天日君が乗り込んだのが皮肉だつた、京城へ近づくと夫人は『さあ、最う明晩は内地ですね

■明後日の晩は東京

ですつて、早いもんですねえ、矢張り氣がそわそわく致しますのよ』とも云ふ東京の花やかな社交界の光景を近い將來の外相夫人は思ひ浮べて居た

◆展望車にて 十七日午後九時五分、南大門驛の滿鮮急行列車の最後に連結した展望車の入口に本社の寫眞班が立つと、本野大使は『また撮るか――一枚撮つて呉れゝば撮つてもよいが……へヽヽ』と隣に腰を下ろしてゐた山縣政務總監『私は中へ入らんでよからう』と立ち上るのを、慌て止めて、本野大使夫人『イエ、何うぞ、記念ですから、御一緒に…』と、皆様晴れやかに――

大觀兵式 …福岡練兵場にて…

●大觀兵式に參するの記

舞鶴城頭光ある日よ――金谷特派員記

舞鶴城の空は秋高く晴れて九州の山河錦旗の光あまねき十五日の晨、大元帥陛下は茲に大演習の

□御統裁を 了らせられ親しく福岡練兵場に軍を閲し給ふ、此の日 陛下には午前九時といふに大本營御出門鹵簿粛々として西公園通を舞鶴城に向はせられ上の橋門より歩兵第二十四聯隊營庭に入らせ給ひ此處にて御愛馬ダツプ號を打たせられつゝ『君が代』の奏樂裡に全軍四箇師團の騎兵隊、野砲隊、重砲隊、山砲隊及び

□機關銃隊 を御閲兵あり更に伏見、閑院兩宮殿下を初め大迫、井口兩司令官並びに幕僚各師團長を随へさせられつゝ午前九時五十分英爽として城外練兵場に向はせ給へば大山、奥、長谷川、寺内の各元帥を初め上原參謀總長、田中同次長、大島陸相を始め陸軍の將軍扈從するもの數百騎壯觀限りなし 陛下には練兵場の西方

□凹字形に 整列せる廣島師團の歩兵第九旅團を順次御閲兵あり『捧げ銃』の劍戟林の如き場内諸隊の前を御一巡の上中央の玉座に著御あらせられたるが諸兵指揮官大迫大將は西川諸兵參謀長並びに幕僚を随へて軍の先頭に立て號令し陸軍軍樂隊の吹奏裡に全軍四箇師團の歩兵歩武堂々と分列行進に移り大元帥陛下の玉座前を過ぐ、師團の先頭には師團長幕僚に次いで

□光輝なる 軍旗秋風に飄へり銃劍の林白日に閃くところ壯觀云はん方なし斯くて歩兵隊の分列行進を了れば次いで工兵大隊、機關銃隊、山砲隊並に重砲兵、野砲兵聯隊の行進ありて終に勇壯なる騎兵の行進あり、斯て式は午後零時三十分に至りて終れり、猶飛行機の空中分列式は徒歩部隊の行進を了りたる午前十一時二十分より久留米及び古賀より參加し

□二百米突 高度のを保ちつゝ式場の空を二週し兩軍十五臺の飛行機は單縦陣を以て飛翔しつゝ玉座前に至るや順次色鮮やかなる國旗を垂れて敬禮す斯くて光輝ある九州特別大演習の觀兵式は午後零時三十分といふに了りたるが 大元帥陛下には特に式場に於て

□在鄕將校 に謁を給ひ更に御鹵簿にて城外大堀西側を迂廻大本營に還幸遊ばされたり回顧すれば此の日 陛下親しく武を閲し給へる所は曾て文永、弘安の役に於て蒙古の大軍を擊破せるところ且つ南朝の忠臣菊池氏の北條氏と闘ひたる古戰場にて拜觀者の感慨一層深きものありたり

●鮮人と便所設置 京城在住の朝鮮人居宅に於て便所の設置[illegible]

[illegible]て修理中なる南大門通りの道路工事に使用したるセメント[illegible]二十個を[illegible]

[illegible]面下九岩里山中を通行中警衛く計り[illegible]なる横天追り[illegible]に襲はれ所持金十餘圓のものと[illegible]消し強盜に奪はれたる如く裝ひたる[illegible]

一重(二等四十六名)山下とし、同雅子、岡島とら、同和郎、同正元、中内松矢、井關たく、田中佐一郎、鈴木不二惠、小木ふで、石川茂、小川保[illegible]

●命を賭して兇賊と奮闘す

△勇敢なる鮮人巡査補

忠南唐津署詰巡査補林鴻經は十四日夜同地高大面彩雲川附近を警邏中年頃三十歳格好の怪しき一鮮人が徘徊し居るを認め取押へて本署に同行中山路に差蒐りたる際件の曲者は匿し持ちたる鋭利なる鮮刀を以て不意に同巡査補の頭部に一刀を浴せ巡査補が打倒れたる隙を見て逃走を企てたれば勇敢なる巡査補は直ちに起き上りて組みつき逮捕せんとしたるに賊は再び巡査補の眼球を初め滅多斬りに斬りつけたるも屈せず約一時間許り格闘し數箇所の重輕傷の爲め力盡き人事不省に陷りたる隙を見て賊は逃走したり折柄郵便配達夫曹某が通り蒐りて打驚きて急報したるより唐津署にては吉松署長以下總員出動して手配の上件の兇賊を遂に逮捕したり賊は高大面生れの者にて殺人強盜を行ひしものと判明し目下嚴重取調中なるが一方林巡査補は却々の重傷なるも多分生命には別條なかるべく同地官憲にては義捐金を醵出し見舞金を贈與したりと

●大病人は強盜

馬を盜んで逃ぐ

全北井邑郡山内面龍後里趙應敎(三九)は十一月七日大邱方面より慶南居昌邑内竹田洞馬夫尹甲石(三)方に避き大邱の病院に入院加療せしも都合に依り退院歸鄕の途中病勢再び募りて足の疲れ甚しければ馬を用意し呉れと申込み同夜全北長水郡蟠岩面大論里の山道に差蒐りたる際俄かに馬上より飛び下り手拭を以て尹甲石の頸を絞め紡績製の繩にて立樹に縛りつけ石を以て強打して人事不省に陥らしめて同人の上衣及び馬一頭を強奪逃走したるも間もなく長水憲兵分遣所の手に逮捕され目下取調中

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▽冠付『汽車と電車と自動車と』

『飛行機と汽車と電車と自動車と』(一等) 晋州 岳雲生

ロンドンは…… 京城 耳樓生

三ツ巴…… 仁川 矢間本生

伊勢詣り…… 龍岩浦 大石 劍牛

お土産は……(先著) 京城 一夢

車夫睨む…… 龍岩浦 海坊子

急ぎ旅…… 龍山 起以知

おもち屋で…… 京城 名塚 一坊

蜜月旅行…… 京城 神崎生

見下せば…… 龍山 山家 呑公

●背後から襲はる

平南安州郡大尼面鉢南里天文珏(三十)は本月四日夜肅川市場より牛を賣りての歸途居村前の小川を徒渉中後ろより賊現はれ小刀を以て同人の後頭部其他に斬りつけ石を以て強打して即死せしめ所持の金員三十六圓を強奪して逃走したる爲め安州憲兵分隊にて實地檢證の上目下犯人嚴探中

■課題及募集規程

■募集規程 ▲用紙は適當又は半紙の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名[illegible]

●大邱に疑似虎疫

大邱元町一丁目雜貨商山下金之助妻壽賀(三〇)は十七日午前三時頃より激しき吐瀉をなし直ちに避病舍に收容せしが疑似虎疫と決定し目下檢鏡中なるが元町は大邱驛の要路に當り大通行頻繁なる所なれば警察署にても特別の警戒をなしつゝあり

雜囊 (九州大演習記者團)

□大演習觀兵式の始まらんとする午前九時過ぎ 陛下の著御に先立ち還幸を拜する觀兵場の繋留氣球が斷れてフワリ/\と空高く飛び去つた、中には繋留氣球の分列式などと穿つた人もあつたが氣球はツエツペリンのやうな形態なのであのまゝ歐洲に飛んで行つたら大騷ぎだらうと拜觀者は評判して居た

□觀兵式の時御鹵簿の先頭に進む師團長は玉座前に至つて急に『右手前』といふ進み方で馬首を玉座の傍に立てるのであるが此の『右手前』に廻つて急にヒラリと驅け出すところに各自の面白さがあると軍事通は語つて居た

□大演習大宴會が了つて還御の陛下に盃ふと這回の演習では北軍司令官井口中將がよく展開して思ふ存分に闘つたのを悦んで居る…』とのはなしであつた、將軍は御退席後の陛下の玉座に近きあたりで秋山將軍と頻りにお話し中だつたが御馬前を出ると自動車に打ち乗り西川北軍參謀長及び各幕僚と共に司令部に向つた

□或る將校曰く『今年の演習は餘程諸君も興味深く思はれたやうだが今年ほど戰者の原則通りに行動したとはありません…』と

□十五日夜はまた各學校の學生生徒の大提灯行列あり、光榮ある陛下の御臨幸も今宵一夜となつたので十三萬の福岡市民を始め拜觀の人々は何れも名殘惜し相に大本營正門前から行在所の方を拜して行つた

□博多停車場はまた開闢以來の群集で昨年共進會の時と雖も到底此の半分もなかつた、それに今年は天子様の御臨幸でこの通です……と驛内の車を待つ間群集の一人は後から押されて椅子を打ち破つた程の人出であつた

□それに一時福岡に集つた將軍達は何れも續々と博多を辭し寺内首相は十五日の夕刻六時過ぎに長谷川總督も同じ列車で何れも出發

秋山大將は 竹内高級副官と共に同夜八時四十分の汽車で東上

□また驛頭車販袋の川村(宗明)元帥に這回の演習の評判を尋ねたところ『君が觀戰して見らるゝ通り……』と笑ひながら『これから長崎へ越して二三日滯在、すぐ東上する』とのおはなし[illegible]解には元帥の宿であつた鐵業家の伊藤傳右衛門氏が見送つて來た――元帥の子息川村敏氏は日本郵船長崎支店長に居られるとのはなしであつた

□花電車が通る見物人が往來する福岡の町は徹夜で眠はひつ、停車場は戰場のやうな雜沓であつた(十五日夜特派員記)

●奇石治療を覗く

昨年共進會を機として入京し一時名を博したる酒井猶吉氏が此程より永樂町三丁目金光教會の向西三軒目に寓し各患者の治療に應ずるを聞き足の序一寸覗いたら矢張り不相變一室には順番に患者は待居る……處へ猶吉氏は白衣の儘治療室より出で來り『サア何分日淺故』なれど警察署會計課の合夫人杯は不眠血にて何れの醫藥も效無き處一回にて痛みを止め三回で僞の様に床離れ全快させ又此近所にて若草町の服部雜貨商の老母の神經痛は醫師よ祈禱よの處二回にて痛みを止め六回にて速に全快させ又金子令息は全身は小豆の如く皮膚病にてカユガリにて寢るに付かざるを二回にてカユガリを止め五回にて天殘無の如くに全快させた其他多數の全治者有之と云ふ間患者の待遠顏を見て倉皇に逃げて出た(廣告)

京城本町電話八九〇 [illegible]

演藝案内

御成座 電話一九一 一成町 第二十六回公演 小島孤舟氏作『浪頭』(全九場) [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 九日より 朝寝坊むらく改め松本川柳一座來る △出演番△落語[illegible]△落語[illegible]△音曲はなし[illegible]〇毎夜正五時半開演仕可候

大好評の浪花館 今晩は最も特意の出し物 佃田祭り 川柳口演

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) 大然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會 十一月十四日より差替特別大寫眞 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 十一月十七日より新寫眞提供 ▲寶島ブルガリヤの首府ソフイヤの風景 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 十一月十五日より特別興行 [illegible]

有樂館 新派悲劇 色手綱(全三巻) 舊劇 立浪武源太 正劇 京上﨟(全三巻)

稻荷座 京城本町五丁目 十八日午後五時半より ▲京阪落語別派三升家會 [illegible] 落語芝居喜劇本座 [illegible]

產婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 診察午前午後 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前 中央婦人病院 院主 衣笠[illegible]

錦鷄間伺候 從三位勲二等 吉原三郎儀豫て病氣の處養生不相叶本日午前二時四十分薨去致し候 追て途中葬列を廢し來る十九日午後二時青山齋場に於て神葬相營み候

大正五年十一月十七日

男 吉原精一
親戚總代 吉原萬藏 杉谷幸平 春藤嘉昇 篠崎治 間宮脩致 松室三郎 山縣伊三郎
友人總代 原敬 石塚英藏 古賀廉造 野田卯太郎

天 あ 曇り少雨 但 十一月十九日 [illegible]

日出 午前七時十七分 日入 午後五時二十一分 [illegible]

……設置するの增加……の爲め到底其の費を支出し得ざるも……の方法を以て過般來土木局の直營に

刺繡の全盛期

◆流行と色彩の變遷　◆外國婦人の嗜み

日本婦人の間には此二三年前から、著物コート半襟などに大分刺繡が應用され、今年來年は恰も刺繡全盛時代と云つてもよい位で、從つて加賀、名古屋、京都地方の婦人は刺繡の内職に忙殺されて居ると云ふ有樣ですが

◆あの華麗な日本の刺繡を大變に好んで愛翫許りでなく

繪日傘、オペラバツク、クツション、テーブルクロース等の室内裝飾に迄も應用して珍重がつて居た外國婦人は佛、英、米を問はず一般的にあれ程嗜好して居た刺繡にそろ／＼秋風を立てゝ來て、輸出も昨年よりは餘程減じたと云ふことであります。勿論其原因は流行の變遷等にも依りませうが、他にもつと重な理由があるのです。刺繡品を年々直輸出する某商店に就いて聞くと

◆注文の金高に應じて日本で製造される刺繡の模樣や工合が、外國の婦人の嗜好に適す如なものゝみを輸出する事が出來ないのも飽きが來たと云ふ一の原因でせうけれど、一般に云ふと外國婦人は餘り輸入品を歡迎しない傾きがあります一品でも成る可くならば他國の品を使はずに、自國で出來る品物を使用することを以て唯一の誇りとして居る、ですから餘程自國の品物より立ち優つた物品でなければ歡迎しない事になつて參ります。

◆刺繡なども初めは大分歡迎されて居たのが昨今輸出されるものですけれど、斯う値段の高い品物を何時までも使用して居ては自國の爲めにならないと、先づ第一に氣附いたのは上流の婦人らしく今年邊りは中流下流の婦人向き刺繡の輸出品に比べて上流婦人の品物が大變に減つて居ます。之等は舶來品とさへ云へば無暗みに珍重する日本の婦人方と一寸異ふ點で御座います。せうそれに

◆外國の婦人は單に流行と云つても模樣や地色と色糸との調和を變へる位なもので、日本のやうに今年は茶だとか來年は紫だとか云ふ工合に一つの色が流行すると云ふ事はありません。自分に似よつた色を何時も注文すると云ふ風習なので刺繡に使ふ輸出用の絹地の色は種々雜多な色彩のものを備へて置く必要があるのです（東京）

流行の半襟

此頃の半襟の色は若い人には紫紺、紺といつた所で、少し年のいつた人になると黑とか茶などのくすんだものが喜ばれてゐます

□模樣は從前の如く縫が流行の七分を占めて柄は細かくともぱつと眼覺めるやうな華美なものが比較的歡迎されてゐます、菊花や紅葉散らしの手の込んだものも時節柄の模樣の一つです。染になると意匠にも新しいのがあります。紫紺色の地へ色紙重ねや短冊重を花やかに

□色で染め出してそれへ金銀の縫糸をきらめかせたのは美しい中にも品がよく、令孃向きとして極く若い人達に喜ばれてゐます。生地は矢張縮緬が全盛です。下つて金紗縮緬や、いろいろな地紋を應用して巧みに刺繡を施した紋金紗縮緬も流行してゐます。

それから少し凝つた人の□好みには能樂模樣があります。近頃は一般の家庭に謠曲の流行が見えますから、これも寶の圖案風で見せて、これへ文句の一節を縫ひした行きがよい。翁高砂などのは中々高雅の趣がありますがその他百人一首の歌の絹絞り、大原女式と言つた花菱廠の菊、疋田等と全體に細かく刺繡したものも盛んに出てゐます

稀しい鰮の大漁

江原道通川郡碩德面庫底里沿海にて本月二、三の兩日鰮五十餘萬貫（此價格二萬六千圓餘）の未曾有の大漁獲ありしが之れが始末及び運搬に三千餘名の人夫と牛八百頭を使用し近來稀なる盛況を呈したりと

全國新聞紙展覽會

東京日本電報通信社は創立十五周年を記念する爲めに來る廿五日午後一時より全國新聞社員十五年勤續表彰式並に新聞紙展覽會を東京上野公園日本美術協會内に開催し後同所精養軒に模擬店を開き餘興として上山草人衣川孔雀一派の近代劇ある筈

永登浦消防演習

永登浦消防組は十九日午前十時より消防演習を行ふ筈なるが京畿道本部より小熊警部出張檢閲すべし

燈ともしごろ

▲大元帥陛下の御臨幸を迎へ奉つた光榮ある長者原の村は大川村といふ小丘を負ふた平地で飲料水に乏しいなぜかと云へば地下はすべて石炭の殘骸となつて居るからである然るに土地の人は御野立所下にあつた共用の井戸がこんど陛下の御料に采つたといふので末代までの記念として清竹に七五三繩を張つて井側を新造するなど大よろこびであつた▲村の醬油釀造家工藤氏を訪ふと今日の行幸をよろこぶと限りなく御野立所はモウ天子樣がお歸りになりますとすぐに砂をとりに出かける人が大變ですから取締つて居ります村の人はあすこを永久保存して記念碑を建てるつもりです▲此處の地名は今から千年ばかりも昔しのこと一人の長者があつたから申しますので春は此の平地に菜種の花が毛氈のやうに咲きます南朝の忠臣菊地氏が足利尊氏の軍を討つて敗れましたのは貞元元年十月の四日懷良親王の立たせ給うた遺蹟は今でも御所陣といふ地名に遺つて居ります▲其の下にはふるいむかしからの佛像がありますが昨年村の若年會で果樹園を開くときいろ／＼な寶物を發見して東京の博物館へ納めました——博多へは二里程、此の道を東におとりになれば飯塚の方へ出ます、何しろモウたいへんな人出で此の村開闢以來のことでございませうと▲大演習最後の決戰場多々良川の流域はよく世間では元寇の史蹟のやうに思ふ人もあるが元寇の役は主に福岡の西方今の練兵場のあるあたりで行はれ箱崎から此の方面へかけては日本軍が陣を布いたものらしい▲多々良川の流れは主に南朝の忠臣菊池氏が逆賊足利尊氏を討つて破れた古戰場として記念すべきである、當時菊池氏の軍は恰も今日の南軍と同じ地勢にあつた、當時菊池氏は松浦氏の反した爲めに敗れたけれども、やはり地の利が惡かつたにちがひない孫子の曰く『山に向へば破る』さすれば山の陣地が暗い平地から攻撃するものは損である▲千載の好戰場もまたくつ繩り昔而の苦勞を偲ぶあり多々良川で一高唱したい、此度の演習に南軍の大將軍を菊池氏に比し井口司令官を尊氏にしては相濟まぬが同時に小倉師團がかつて第一日以來の仇討ちをなしたのは痛快であつた

壽館の淨瑠璃

梅鶯會にては十八、十九兩日午後六時より壽館にて淨瑠璃納會を催す由語り順次の如し

▲初日（十八日）二十四孝（富士）新口（如登）赤垣（冠奏）宿屋（とし子）伊賀六（愛次）すしや（日東）明烏（夏通）熊（梅照）掛合蟲阪、おさよ駒助（顔吾）とし子　淨市　愛次）

▲二日目（十九日）文助（日東）太十（一柳）草履打（とし子）忠四（筑紫）御殿（如鶯）新口（駒助）合邦（梅亦）伊賀八（奈良梅　緑賀芳）

古書骨董類競賣

京城南山町原金旅館樓上に於ける石川縣金澤市某大家所藏の古書畫及び什器、屏風類其他三百餘點は愈々來る十九日正午より競賣する由なるが逸品頗る多しと

模範店員表彰

京城南大門通松原醸造店員寺川清一、吳永吉の兩名は去る四十四年十一月同店に就職以來滿五箇年間勤續し同店の爲めに盡したる功績鮮からず且つ平素の行狀他の店員の模範とするに足るを以て十七日同店主より篤行一組宛の賞品を授與したりと

神社とお寺と教會

○開教院（本町三）十九日午前十時より日曜學校午後七時より日曜說教ある由

○京城基督教青年會　十八日午後五時より中央青年會に於て體育會を開きたり

○京城日本基督教會　十九日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教井口牧師の『生活の標準』說教あり、猶ほ午後七時より同師の『人格の不死』

○西本願寺（若草町）十九日午後七時より日曜講話あり

○東本願寺（南山町）十八日午後七時より土曜講話あり

○龍山本誓寺（元町）十五日夜より宗祖親鸞上人の報恩講を嚴修毎日午後一時夜は七時より勤行を初め松原開教使長初め京龍開教使の說教あり

○メソヂスト教會　十九日午後二時南大門三丁目監理教會禮拜說教『我は生命のパン也』シヨン、ゲブリエカ、サンビイ君午後七時三十分旭町二丁目牧師館傳道說教『愛の力』孫岡牧師來聽歡迎

○京城基督教會（南米倉町）十八日午後七時半より北廟會の演說會あり十九日午前十時朝拜說教『耶穌の涙』山本牧師午後七時夕拜說教『神國の發展』同牧師

○龍山日本基督教會（漢江通）十九日午前九時四十分日曜學校同十時禮拜說教『自制ある沈默』同午後七時半傳道說教『只若者あるのみ』肝瀬牧師

商況

●官憲を欺く

忠北忠州郡可（金面坪里）吳星出（三一）は十月三日夜同……父より……を受けた十餘圓を賭博に費……吳星出を取調べたるに商業用として……一向手掛りなきより……

●連絡船上陸客

十一月十七日午前釜山入港さくら丸一二等客（一等九名）南須磨、江口定條、三宅留太郎、提……

東京株式特電

諸株又堅調なり　十八日前場寄付　大引

日本郵船、同新、鐘紡、京城電氣、日本紡績、同新、東株、同新、東京新第一、東京新第二（各欄數字―）

債券現物特電

（東京）十八日出來値段（前日との比較）

東京市電、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮殖産、南滿鐵道　八一、〇〇　一八三、〇〇

公債直取引

（京城）十八日出來値段（前日との比較）

五分利特別　九九、九〇　五分利甲號　八四、二〇　四分利　八三、二〇　四分利　九九、九〇　二回五分利　九、……

深川在米特電

十八日現在高　朝鮮米　一五、六三一　臺灣米　七六、八四八　內地米　一〇五八、八〇二

東京期米特電

十八日前場　一月限　寄付　一七、一八〇　高値　一七、一〇〇（?）　安値　一七、〇八〇　止め　―　後場

大阪三品特電

綿糸先限百八十四圓九十五錢　綿布三銘先物六圓七十五錢　龍シー現物六圓六十五錢　保合強氣配

大阪期米特電

十八日後場　十一月限　十二月限　一月限　二月限　三月限　四月限（各欄―）

下關期米特電

十八日前場　當限寄付　一六、二一　中限寄付　一六、二七　先限寄付　一六、七八　止め

雜報

十八日前場　明日特合觀　當限　中限　先限

寄付　高値　安値　止め　五六、三五　五六、三四　五六、三三　五六、九九　五六、九七　五六、九九

鐵板突飛高

鐵板類は品中……特に一向に絲々人氣を高め來れるが殊に十三枚物の如き最近の大阪入電には……一束一躍五圓高を報じ居れり……

……

鑄物類更に昂騰

鑄物類は其後續いて漸騰歩調にて昨今更に百貫目に付一二圓方の騰貴を示し……

古銑

……

氐革の其後

……

精米ヂリ高

……

亞鉛線高氣配

……一圓乃至三圓高……

下關相場

▲朝鮮白米は手堅し……

[illegible]

田中大金會計

……電話二六二五一……

京城正米

……

南大門の廻穀

……

三巴仲買店

本町三丁目　電話三三〇三

仁川現物市場

……

各地商況

○大田（十七日の穀物）▲正米　本日京城正米業者との間に若干の手合せ行はれたるが出來値は神力種玄米京城着の十二圓三十錢なり

○木浦（十六日の穀物）▲穀（十錢高）期米はダレ氣味に加へて天候不良の祈禱として各産地よりの出荷著しく減少せしも本日になきは上天氣なれば午前に五百俵位に買ひ成立したるが……

……

釜山市場　十七日

……

仁川期米

▲十八日前場　天候晴天　寄十六圓七十八錢と昨止同事の入電……

大阪

……二節七十六錢……

市場雜聞

……

保合底強し

……

確實　仁川株仲買人　廣澤正太郎

電話一六五番　六三〇番

▲受渡し豫想

……

▲實地受渡しは約二萬五六千石

……

▲受取方は賀田筋

……

▲第一回審査

……

四十錢の發表

……新米に格下……

前場の手振

……

掬ひ買物多く押目は新規に小買

……

▲能く賣る

……

▲全能く買ふ

……

▲能く買ふ

……

▲一般氣乘薄

……

▲熱心買

……

▲熱心賣

……

▲當限解合ふ

……十二圓十錢に七……

千四百石の解合

……

仁川米豆取引所

十八日の一月限

寄付　十二圓六十一錢　高値　十二圓六十五錢　安値　十二圓五十錢　止め　十二圓六十錢　前場出來　一萬五千五百石

賣買取組高　十一月限　一萬二千八百五十石　十二月限　三千二百石　一月限　十萬七千七百五十石

北濱だより

……

青物市場

ホウレンソ	二五	三〇
ジンキク	二五	二五
タカナ	二五	三〇
ナツパ	二五	三〇
ヘクサイ	二五	二五
タマネ	七〇	一〇〇

書畫骨董入札

今般石川縣金澤市某大家御所藏の古書畫骨董及什器屏風類賣却の御内意ある由を傳聞し其進んで之か賣却方の引受を懇請し約三百餘點を撰擇し入札及難に付ら左記の方法に依り御當地に移入し候事と相成候に就ては優秀なるもの多く何れも各位の金澤市は舊大藩の名殘りとて古書、骨董類に富む事は御承知の通り此の古美術品を蒐集し古く同地の御家の器物は總て當地の御賞鑑に一任し候も是れ平素御引立を蒙り候御高恩に酬ふるの微意に外ならず候何卒下見の當日より御光來の榮を賜り度奉懇願候

十一月十七日　十八日　下見

十一月十九日　正午より入札及競賣

場所　南山町三丁目　原金旅館樓上　電話一一二五番

主催　本町二丁目　石川縣物産紹介所

補助　佐々木古堂　池内古堂　伊藤寶温堂

東京米穀商品取引所仲買人　相馬榮治

東京市日本橋區蛎殻町一丁目一番地

電話浪花　長二四六〇　二四六一　二四六二　二三九九

登録受信略號（トウケイマタ）

營業案内送呈

讓受御披露

各位益々御盛榮奉賀候降而弊堂儀從來横田街二氏經營罷在候處都合に依り今回小生に於て全部を讓り受け從前通り營業致候間倍舊御同情御引立の程奉願候

追て本月は店務引繼の爲配達其他に意外の遲延致候得共今後は精々注意迅速に取揃配達致候間續々御用命の程奉懇願候

書籍雜誌　文房具　學校用品　龍山漢江通電氣會社前　龍山堂　店主　長尾甚平　電話四五五番

壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ

Mゴムマリ　品質と價格で大評判

製造元　三田土ゴム製造合名會社

發賣元　大阪唐物町　飯田商店

模範　純粹培養　牛乳　ヨーグルト

太正採肥醫獸醫場

東亞牧場　京城東大門通　（電話二五番）

營業品目

肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番

京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　同　九七三番　振替口座京城四〇〇番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角　古城賛化堂　電話一〇二番　振替七三七番

優等清酒

三巴正宗發賣元

京城府蓬萊町西丁目　三巴酒造場　電話一〇六七番　振替口座六一八番

大田支店　電話一三五番

平壤支店　電話五一一番

内科　小兒科

京城日出小學校前　多々見醫院

入院隨意　電話九四〇番

有給社員募集

京城黃金町

株式會社　明治公債　朝鮮支部

釜山幸町　釜山出張所

大邱東城町　大邱出張所

太田榮町　太田出張所

群山曙町　群山出張所

平壤本町　平壤出張所

元山仲町　元山出張所

清津敷島町　清津出張所

咸興大和町　咸興派出所

木浦大成洞　木浦派出所

内科　小兒科　外科　花柳病　診察

西小門町官醫院跡（電話一三二五）

高井醫院分院

院長正六位勳四等　高井貞治

副院長千葉醫學士　松崎正彦

診察　自午前八時　至午後六時

銚子港　田中玄蕃釀造

ヒゲタ醬油

代理店　京城明治町一丁目　發賣元　櫻正宗　山邑京城支店　電話八四九番　振替貯金京城七五番

宮本武藏

第二百二十席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

石川小才次が止めの一刀を刺しました處、妾は祖母に違ひない、暫くして本體を露はすだらうと思ふて居たが却々露はさない、此時曉雲が 曉「總て年經た怪物の本體を露はすには千年を經た杉の木で是を打つ時は忽ち體を露はすと承はる、茲に一條關白兼良の話しをして聽せやう」と水野曉雲が此の話しをしたのでございます、抑も一條關白兼良といふお方は關白經嗣公の御子にして博學多才の人である、十六歳の時元服をなされました、スルと空中に聲あつて

猿の頭に冠被せけり

此時兼良公空を睨んで

元服は未の刻の下りにて

と發仰つたが、是から此のお方のことを猿面冠者と人が申しました、太閤秀吉公のことを猿冠者とは云はない、犬面冠者と云つたので、猿に似ても犬に似ても餘り好い容貌ではなかつたと見ねます、關白兼良公は慢じて他人に語つたのは、麿は菅公に優ること三ツある、一は攝家に生れ二は太政大臣に昇り、三は延喜以後のことを知ると云つた、成程菅公は攝家の家ではない、又在世は右大臣延喜の年間に沒した人だ、關白兼良公は延喜以後より遙に生延びた方である、依て恁う云つたものであるが、其後京都の戰亂を避けて奈良に屏居して居ります、スルと或一日若い男が來て兼良公に對ひ 男「貴下にお尋ね申すが三國誌の關羽字は雲長是を壽亭侯といふ官を贈る、此の壽亭侯といふのは違つて居る、御身は御存知であるか 兼「麿は知らん 男「知らんければお話しをしやう、白帝侯といふのが眞個だ、己は帝に等しき者であるといふ處から關羽を稱して此の號を贈つたので 兼「成程 男「シイに會といふ字を書いて酒と讀せるか此の理由を知つて居るか 兼「知らん 男「唐土に李白杜甫といふ詩聖あり悉く酒を愛して死しての後開元帝の時化して二鳥となり水邊に遊ぶ、シイに酉をつけて酒といふ、又漢の明帝の時天下旱魃して死人多し、赤縣といふ人の庭に桑三本生じ其の葉より滴り落つる水酒となり、此の酒を死人の口に灌ぐと悉く蘇生る、桑の木三本に因で神酒といふ 兼「成程お前は物識りだ、麿は始めて聞いて感心いたす 男「今日は歸るが又明日來て何か爲になる話しをして聽せて上げやう」と云つてスタ〳〵歸つて行く、後姿を見送つた關白兼良公 兼「如何にも彼は不思議な奴じや、多くは人間ではあるまい、此の者の正體を露はすには千年を經た杉の木を以て打んければ姿は露はさん、明日參つなら、杉の木の木劔を以て打据ゑ彼奴の本體を露はしてくれん」と思召たから家人を呼んで 兼「此の邊に千年を經た杉の木は無いか 家「左樣にございます、春日明神の神木は千年から經つたものださうで、兼「左樣なれば神木杉の木の枝を一枝持つて參れ 家「畏りました」と春日明神の境内へ參つて神木杉の木の一枝を切つて持つて參りましたから是を木劔に削らせて、それを傍に置いて待つて居ると、翌日例の若者が遣つて來た、今入らうとしたが跡へ退つて其儘バラ〳〵と逃出したから、兼良公 兼「待て」と右の杉の木劔を取つて彼の者へ投付ける背中に當つたかと思うとキャッと云つてそれへ仆れた、兼良公始め大勢の家來が其處へ來て見ると、今まで人間と見ねたるが長九尺もあらうかと云ふ金毛白面の狐であつた、是を見て人々奇異の思ひをしたといふ、曉雲が此の話しをして 曉「此の邊に千年を經た杉の木は無いか 小「ございます、此向山に 曉「然らば其の杉の木を一枝切て持つて參る樣」と吩附け直ぐ持來つた杉の枝を以て老母の死骸を丁と打と忽ち本體を露はしたのが半面斑の恐しい化猫、是を燒棄て向山へ埋め猫塚を建ました、此の小才次が父の名を襲ぎ小太夫となつて南部家に仕へる、曉雲二天の兩人は暫く此處に居りましたが、此の地を立退き是より出羽の秋田を指して出立いたしまする。

肛門病 痔疾注射專門
(十一月十二日より向一ケ月間)
診察時間午前九時より午後九時まで
京城南大門驛構内二見旅館内
肛門病專門 院長 久枝秀喜
『患者參考』最新式痔疾根治注射療法書申込により進呈す

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

開業 質 濱田
黄金町手目十五番地
(永樂町停留場北へ入萬成舍隣)

十一月二十日九星 舊十月廿五日辛酉 本命三碧東岡佛滅

●三碧● 依處する事有日 落付て新事見合 坤の人は吉昭劍東▲四綠● 好調の日轉居 開業入學名山盤非の件縁組先を見越たる 商事與萬吉▲五黄● 勿論とする事有日新事手控萬事は吉 貸 爭を謹まるべし▲六白● ぐれはまになる事有日 新事手控萬事は吉婦人と約束を忌む▲七赤● 獅り論の事有日新事手控萬事は吉 御財產を防がるべし▲八白● 捉へ所なき事有日新事 手控萬事は吉貸借の口入せぬがよし▲九紫● 吉祥の日轉居 開業入學求職造船名弘婚姻養子女を定る等萬吉▲一白● 特色を現す日轉居開業等皆吉 女子の學藝により立身を爲す頗る有望の日也▲二黒● 頼まれ閉口の事有日新事手控萬事は吉 一切のせわ事を禁ず

瀬戸 外科 皮膚科 醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀬戸潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

健康の鍵は
淺田飴
たんせき 一切 よくきく 人によし
本舖 東京 堀内

平壤栗 卸
京城南大門外 池田商會
電話七九五番 振替口座二四七番

最新高等かぜねつ良劑
キナピリン
本舖 大阪市 高橋盛大堂藥房

結核專門 古賀病院
佐賀縣基里村 鳥栖田代驛より四丁

月やく なきに御困りの方は郵券三錢封入左に御照會あれ
妙藥知らす
京城黄金町三丁目新道角 山田志づゑ

特長

ライオン歯磨

其一 ライオン歯磨は成分の粉末が非常に細かい。

ライオン歯磨ほど粉末の細かい歯磨は絶對に他に無い。これはライオン歯磨本舖の責任と自信とを以つて斷言する所である。然らば粉末の細かい歯磨は何故良いかと云ふに、歯の衛生を心得て、朝夕食後に、一日少なくとも三度宛歯磨を使用するに於ては、是非共粉末の最も細かいものを選擇しなければならない。さうしないと幾ら堅固な歯の表面(琺瑯質)でも磨耗してしまふからである。(一度磨耗症に罹ると取返しがつかない。)

白さに艶がありお化粧崩れのせぬ

(貴家 高貴方の御用命)……

此故に……名譽ある……

レート白粉

レート白粉は、附り伸びの飛び放れて良い事は勿論、思ふやうにお化粧が出來て永保ちし、其上芳香の良い事など到底他の白粉とは比べものになりません。この點から見ても秋のお化粧料として些の申分もなく、上品で美くしい其お化粧栄わは、常に高貴の御用を拜しお目の高い皆樣から賞讃されて居る証據で御座います。

東京 平尾贊平

京城日報　第三版

十九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價　一ヶ月金五拾錢（郵税共一ヶ月金五拾五錢）　廣告料　五號活字一行金七拾錢

發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

京城論壇

殖民地の財政

土地調査局總務課長　和田一郎

殖民地財政政策は殖民地統治の主義如何に因りて自から其の態樣を異にす、是れ財政政策も亦殖民政策の一分科として其の統治の觀念に支配せられ、之に依る諸般施設の反映たらざるを得ざるものあればなり。殖民地統治の主義に三種あり、普通に之を母國本位主義、殖民地本位主義及び母國殖民地兩本位主義と云ふ、皆諸國の現に實行し若くは既に實行し來りたる所にして、其の利害關係の因緣する所亦必らずしも其の軌を一にせず。

母國本位主義とは母國の利益を本位とし主として母國の富力と權力との發達を希圖するが爲に、殖民地を束縛し強制し其の利益を犠牲として顧みざるものなり。此の主義は第一期の殖民思想を代表するものにして政治的問題等の今日の如く複雜ならざる時代に於て、未開地方又は劣等種族に對し普通行はれたる所なり、即ち第十九世紀の初葉以前西班牙、葡萄牙及び和蘭の採りたるものゝ如きは其最も甚だしきものにして佛蘭西及英國も亦此範疇を脱すること能はず彼の米國獨立戰爭は實に此母國本位の蠻想を打破せる一大警鐘なりき。殖民地本位主義とは主として第一期の母國本位主義の反動として所謂自由平等の思想に基き、殖民地を以て殆んど母國より獨立したる一社會と爲し、母國の利益を度外視して專ら殖民地自體の助長を計り、殖民の理想は殖民地の發達に因りて之を母國と特別なる施政の下に置き單に外交又は關税關係に於て母國との連鎖を存するを以て足れりと爲すものなり、此の主義は第十九世紀の初期以來多少の變形を以て諸國に行はれ、殊に英佛に於て此の種の論議の高潮に達せるを見たり、佛のチユルゴー英のラッセル卿の如きは實に其の人なりき。母國殖民地兩本位主義とは前二主義の究極する所二者の分離を惹起し易きに反し兩者の合同協和を目的とするものにして、學者の所謂母國と殖民地とは何が故に之を制限し區別するの必要ありや母國に樹つる國旗も殖民地に樹つる國旗も均しく同一のものたるべく、[illegible]嘗て之に關して國旗の在る所に佛蘭西ありと呼びしが如く殖民地は恰も本國の領土の延長と看做すべきものにして是即ち西人の所謂海外州なるものか、然らざれば國內府縣とも見るべきものなりと曰へるは能く此の趣旨を說明するものなり。此の主義は第十九世紀の後半期以來諸國の概ね採用する所にして更に分ちて二と爲すことを得べし、化育主義及び自治主義是なり化育主義とは殖民地を待つに母國に對する子國と爲して單純なる附屬又は獨立の關係に在るものと見ず、能く殖民地の開發同化を圖り之を誘導し補助し以て母國との結合を期するにあり。自治主義とは殖民地の發達既に充分にして母國の補助を必要とせざるの時期に至り其の自營を認め適當なる監督の下に之が自治を許容するものを謂ひ、主として英國に行はるゝ所なり。自治は固より化育に始まると雖も、化育は必しも悉く自治に歸するものに非ず、或者は化育の結果母國と全然同一の統治に歸するあり、例は千九百年以前に於ける佛國のアルゼリーに對せる政策の如し、所謂統一主義是なり。或者は之を自治の程度に至らしめずして適當なる分治の狀態を存するあり、例は獨逸の殖民地に於けるが如し、所謂分治主義是なり。統治の主義は斯の如く時と處とに依りて各其の趣を異にし、而も其の實際の運用に至りては一國と雖も必しも一途に出づることは能はず、又其の採る所の主義は名必しも其の實に副はざるあり、彼此相牽聯して頗る錯綜を極むるものとす。

殖民地財政政策は如上統治の主義に因りて各特殊の色彩を存す。母國本位主義に因るものは所謂吸收財政にして、母國財政の需要如何に從ひて殖民地の財政を制し、母國の利益のみを主眼として編制せられ殖民地の權利及び利益を成るべく母國に吸收せんとするものなり。學者往々吸收財政と集權財政とを同一の觀念として取扱はんとするものあれども當らず、此の二者は多くの場合に於て相隨伴するものなりと雖も、其の觀念は全く別種に屬す、即ち集權財政とは殖民地豫算又は其の財政的立法が母國の其に從屬するや否の點を觀察し、母國の其と獨立せずして全く附庸の關係に在るものを謂ふ、例へば西班牙、葡萄牙及び獨逸の如きは等しく集權財政を採ると雖も、前者は古來母國政府及び特許會社の事業獨占に依りて殖民地の利益を直接母國に吸收せるに反し、獨逸は却て多大の補助金を殖民地の爲に支出せるを見るが如し。吸收政策の結果は常に殖民地の財政を不安の狀態に陷き、殖民地人民の負擔は其の享受する所の利益に伴はずして產業及び生活の廢頽を招致し、畢竟母國及び殖民地の損失に終ること多し。故にポリユーの如きは殖民地より財源を得んとする一切の企圖は殖民地の幼少にして發育しつゝある時代に於ては其の進步を阻害し、又其の既に成長し且富強となるや却て殖民地の獨立を誘起するに至るべしと說き、ケブナーも亦西葡諸國が吸收財政の爲に既に多數の殖民地を失ひ小數の殘餘殖民地に對し今や却て巨額の補助金を支出せざるべからざるに至り之に反し英國が概して吸收財政に依らず獨立自治の殖民地を養成したる爲今や却て之に對する補助金の支出を免れ且其大殖民地よりは任意の寄附を受けて母國殖民地共に繁榮せるの事例を擧げたり。次に殖民地本位主義に因るものは所謂獨立財政にして殖民地財政は恰も獨立國の財政の如く、母國に對して全然獨立し何等本國の干涉を受けざるものなり。殖民地無制限の自治權を有する英國の或種殖民地例は加奈陀、濠洲本部諸州及び南濠洲等の如き名は自治殖民地と稱するも其の實は宛然獨立國の如く一切の法律豫算を決定し、其の甚しきに至りては母國と反對の關稅立法をも爲すことを妨げられず、又母國豫算の支出に係る國防費に對し其の報償として分擔金を納付するの地位に在るが如き是なり。然れども獨立財政は殖民地本來の目的を沒却するものにして、母國殖民地間の國法上の關係をも消滅せしむるの傾向を有するものなり、元來殖民地は自主獨立の目的を有するものに非ずして寧ろ母國の政治及び經濟の一大目的を到達する所以の一方便に過ぎざるものなれば、要は母國殖民地の合一體たる當該國家の政治的經濟的利益を增進するを主と爲すべきなり。最後に母國殖民地兩本位主義に因るものは化育主義又は分治主義に於ては特別財政と爲り、自治主義に於ては自治財政と爲り、而して統一主義の下に於ては其の財政は母國財政の一部を成し何等の區別する所なし、千八百八十一年のアルゼリーの豫算が羅馬制の中央集權主義に依り其の特別編制を廢止せられ各省所管に分屬せるが如き此の例なり。特別財政とは殖民地の豫算を母國豫算に隸屬せしめず、殖民地に於ける官治又は准官治機關をして其の財政を處理せしむるものにして母國の補助金又は母國豫算の殖民地に關する支出等の關係上或る程度に於て母國監督權の下に立つものなり英國の皇領及保護領殖民地並に佛國殖民地の多數に於ける財政制度は主として此の種の例に屬す、獨逸の保護領に於ける財政は其の形式に於ては未だ特別財政と稱すべからざるも其の事實上の狀態に鑑み、同國學者中是等保護領に對し特別豫算決定の特別財政權を認むるの妥當なるを論ずる者少からず、ラドラウエルの如きは其の一人なり。自治行政とは特別財政制度に比し更に一步を進めたるものにして、殖民地特別の自治機關を認め其の決定せる特別豫算に依つて其の財政を處理せしめ、財政上の立法をも專行せしむるものなり、換言すれば母國の補助金其の他の支出を要することの有無に依りて財政自主權に程度の相違あり殖民地の發達未だ充分ならず母國の監督尙強度なるを要するものに付ては官治又は准自治機關に依る特別財政制度を施行し、其の發達己に充分にして殆ど何等の制限又は干涉をも必要とせざるものに付ては自治財政制度を施行するの順序なりとす、但し自治財政制度と雖も尙或程度に於ては母國の監督權又は母國との競合管轄權を存するを普通とせり。英國の或自治殖民地又は佛、和、丁諸國の殖民地の一部に於けるが如き此の例なり。要するに財政の特別たり自治たるの差は中央政府の監督の强弱と財政の決定及び施行機關が官治、准官治又は純然たる自治なるや否やに在り、財政の決定及び施行が母國の機關に依りて行はれざるの點に至りては卽一なり。

近世殖民政策の主義として次第に母國殖民地兩本位に推移し來れるが如く、其の財政政策も亦吸收又は獨立の主義を放擲して漸く特別又は自治の制度に趨かんとするは文明諸國一般の傾向なり。而して英國は概して獨立的全部自治制を採り、佛國は概して地方的特別制を採れり、其の何れを可とすべきやは殖民地の地位及び社會狀態の發達如何に因り自から其の途を一にすること能はず。思ふに其の母國との距離遠きに失せず且其の文化及び經濟の發達未だ母國と同化すべき程度に至らずして而も其の財政の獨立を認むるを得べきものに付ては、佛國式又は己に述べたる獨逸保護領の近時唱道する特別財政の如きは最も其の當を得たるものなりと謂はざるべからず。而して茲に特別財政と稱するは其の細目に付ては暫く之を措き、其の綱要としては關稅、起債權、殖民地の强制支出及び法令の競合管轄權等は之を母國權力の統一の下に支配するも、殖民地特別豫算の決定、內國稅公課に關する立法、短期融通證券の發行等は之を殖民地官廳の權限に委ね、母國政府は單に其の認可及び公布權を保有するに止むることゝし、別に一種の殖民地會議を設けて殖民地に關する事項に付經驗又は學識ある者を以て之を組織し、諮問又は決議の機關として以て殖民地の特別なる財政的自主を認容せんと欲するものなり。蓋し殖民地の豫算經理を明瞭にし其の濫費を痛切ならしめ殖民地の發案企畫の徹底を期し以て其の經營施設を進捗せしむる所以なりとす。

帝國の殖民地に對する財政政策は純然たる集權財政にして、多額の補助金を要する朝鮮、關東州及び樺太に於て固より然るのみならず、己に母國の補助を要せずして財政上の獨立狀態に在る臺灣に於ても亦何等異なる所あるを見ず、其の豫算は特別豫算の名義を存すれども單に一般會計に對する名稱たるに過ぎずして皆等しく母國豫算の附屬たるに止まれり、其の議定は母國の議會之を爲し、各殖民地の總督又は長官は單に母國國庫の名に於て其の收支を司るのみ、既述の如く集權財政は必ずしも吸收主義を伴ふものに非ずと雖も動もすれば母國の都合に依りて殖民地の財政を左右し、殖民地の事情に適應せざる財政上の施設を强要し、漸次吸收政策を加味し來ること其の例に乏しからず。是れ發達せる殖民地に於ては自主的特別財政制度を必要とする所以なり。臺灣は已に明治三十七年以來財政獨立の域に達し我朝鮮

忘機吟社例會

無佛先生足下　近午過より原稿手に在り、毅を拾うて常曾翁等の山門を叩くもの一人又一人而して座に就くもの何れも今朝の霜はと言ひて火爐を圍むこと所謂十篇一律……

訪僧不遇

新寒不睡

偶叩禪林秋正老。滿庭落葉掃無人。遍尋……

塵外無塵煩外煩。恐它薦氣冒吟魂。重衾未暖鐵然起。撥火鐙頭又一椀。

平生身在白雲層。飛錫今朝借訪僧。鳥雀滿門人不見。笑它塵俗氣稜稜。

楓樹千林忙殘痕。殘瓢瀝瀝叩山門。老僧不見錐僧獸。笑指江南賣酒村。

日報詩壇

天長節　兒島九皐

四海八荒輝國光。旭旗翻處武威揚。花羅落迎佳節。遙拜東天獻壽觴。

評曰　語語典實

觀菊　阪上怡庵

玉蕊金英任露侵。幽香淸艷感人深。秋風滿地金塵絕。匹似當年靖節心。

評曰　超然脫俗

石坡亭觀菊　田淵黍州

山外怨認一林楓。滿目燒紅映碧空。怪傑當年行樂處。不看人影見秋風。

評曰　今昔之感。寫得有餘情。

觀菊　藤倉藤蔭

曉庭溫露白黃花。凛傲秋霜是菊花。一○塵不侵香馥郁。也看淸節似陶家。

評曰　詞暢意淸

天長節恭賦　高井椿堂

絳宸千里瑞雲融。獻壽黃花馥郁中。喜有餘佳節日。皇恩入道仰威風。

評曰　雅頌

日報歌壇

京城　露晧

年かさの舞妓に迷ふ道とへば答ねすすぎぬ行く秋の小町

長城

若人が若き呼吸するたゞごとを不思議に騷ぐこと好み人

東京　櫻楚桂

夕ざれば疏水に映る戀の色灯しの紅に人戀しむ

京城　英夫

語れども心そゞはず山に入りひそかに泣きぬ一狂はしき夜一（後から）

清水の「日本六法全書」　新形　横節

▲改訂敏速　▲印刷鮮明　▲紙質精選　▲製本堅牢　最新刊

電話本局九六四番・九六五番　振東京七四四七番　東京市神田區今川小路二丁目四番地　清水書店

イ印　正價金壹圓七拾錢　郵送料金八錢
ロ印　正價金壹圓五拾錢　郵送料金八錢
ハ印　正價金壹圓拾錢　郵送料金八錢
ニ印　正價金九拾錢　郵送料金八錢
ホ印特製　正價金九拾錢　郵送料金八錢
ホ印並製　正價金六拾錢　郵送料金八錢

世界の名著を網羅せる　新早稻田叢書　生る！

米國大統領ウィルソン著　法學博士高田早苗譯

訂正增補　政治汎論

背皮上製函入　全二冊　千五百五十餘頁　正價各貳圓卅錢　郵稅各十貳錢

著者嘗てプリンストン大學の總長となるや教育行政に偉大の功績を擧げニュージャーシー州の知事となるや政治學講座を擔任するや學殖の博大を以て世界的政治家として其大手腕を示し遂に選ばれて大統領となり世界的政治舞臺に非凡の手腕を振ひつゝあり。其心血に成れる本書が政治學の全般に亘れる學理と世界各國の政治の實際に對する實務の實際に基くは公知の事實なり。本書の前版が好評を博したるは之を證す。世界隨一の良書として譯者は政治學者として又政治家として令名藉甚なる高田博士なり。十餘版を重ねし今最新版の原書に照して大訂正を加へ原書發行以後に於ける各國の制度統計等の變化は最近の群籍を涉獵して之を補ひ無慮五百頁を增して二大冊となせり。則ち之を世界の名著を網羅刊行すべき新早稻田叢書の第一編と爲して江湖に薦む。

續刊　法學博士浮田和民譯並に批評　トライチユケ　政治學

早大教授大山郁夫譯　エリネツク　國法學

新早稻田叢書續刊として近日發行

發行所　東京市牛込早稻田　早稻田大學出版部　振替一二二三番　賣捌　東京堂、至誠堂、北隆館、東海堂、盛文館、星野

十二月號　日本少年

▲歷史小說　染分手綱……有本芳水
▲怪奇小說　密書……松山思水
▲實行家となれ……大島陸軍大臣
▲武士の魂……堀內陸軍中將
▲白鷺城物語……大類博士
▲怪鳥ドドー……谷津博士
▲曆のはなし……吉田博士
▲古塔の怪火……淡路呼潮
▲五郎正宗……
▲盆天地獄……
▲活劇血痕……
▲少年落語……
▲科學畫談　怪自働車、怪丸除
▲放火少年　裁判傍聽記

山賊に捕へられ人質となる記　支那廣西省匪賊の横行山寨に人質たりし森氏の實話

一冊　拾貳錢　郵稅一錢五厘

半年七冊共稅八十五錢　東京京橋實業之日本社

十二月號　少女の友

日本少年主太全國兒童　賀表捧呈光景寫眞

▲歷史小說　雪の曙寶の入船……今西吉雄
▲少女小說　日本よさらば……菅野菊枝
▲淵の獸……飯塚博士
▲ヒトデ草……中井博士
▲露の命……長田幹彥
▲母の聲……江口千代
▲乳しぼり……
▲虹のかげ……
▲賢母物語……
▲母の手紙……
▲寫眞小說　鐘の響
▲科外講話……女子高師教官
▲少女小說　まどかな夢……濱田廣介
▲口語詩　犬が吠えるよ……水野葉舟

遊びの善用　實踐女學校長下田歌子

一冊　拾貳錢　郵稅一錢

半年七冊共稅八十三錢　東京京橋實業之日本社

▲底强く下遊る　後場大阪の[illegible]寄を受けて十[illegible]……

▲人氣の手振……

▲全續て買ふ……

十一月限　十二月限　[illegible]

○立太子禮御饗宴
二十七、八の兩日を以て御擧行
鮮魚は朝鮮より御買上

立太子御儀の御饗宴は來る二十七八の兩日を以て宮中豊明殿に於て行はせらるゝ事に御治定當日は皇族方を始め奉り外國使臣大勲位親任官以下文武官數千名御使用の鮮魚は朝鮮より御買上の事となり總督府は命に依り此の程右鮮魚を冷藏汽船にて輸送し更に十七日下關より冷藏車にて輸送し二十日東京着の豫定なり(東京特電)

○大統領の感謝祭布告
ウ氏交戰國民に同情を寄す

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏は戰爭の爲めに慘禍を受けたる同情すべき國民及び交戰國民の爲め來る三十日感謝祭を行はん事を布告し且つ米國人が戰爭の爲めに苦しみつゝあるものに對し十二分の寄附を爲し救濟に協力せん事を勸告したり(紐育電報)

○露軍ドブルヂャ再進出

露國公報に曰く＝キムボラングに於て敵は多大の損害を被りて擊退せられたり露軍はドブルヂャの南方に再び進出せり(倫敦電報)

○ドイッチランドの故障

ニューロンドン來電＝獨逸潜航艇ドイッチランド號は獨逸に歸航の途中護送の曳船と港外に於て衝突し曳船の船員七名は溺死したりドイッチランド號は修繕の爲め船渠に戻りたるが損害の程度は發表せられず(紐育電報)

○祭粢料御下賜

故錦鷄間祗候吉原三郎氏生前の功勞を思召され十八日畏き邊より左の如く祭粢料御下賜ありたり

金七百圓 祭粢料

倚十九日午前十時勅使として侍從一名を同邸に差遣はされ紅白絹二疋を賜はる由(東京特電)

○汽船六十隻註文

英國政府より神戸貿易商に對し道回四百噸の汽船六十隻の註文あり目下交涉中也(大阪電報)

○羅紗註文斷絕

露國より軍用羅紗新註文斷絕し當業者は尠からざる打擊を蒙りつゝあり(東京電報)

□東宮殿下御還啓

東宮殿下には十八日午前銚子伏見宮御別邸御出門三崎金比羅神社高地の御野立所にて近衛師團機動演習御覽午前十一時三十五分銚子驛御發車午後二時三十五分兩國驛御著車夫れより直に御參內皇后陛下に御對面あらせられ演習に關する御物語あり同四時高輪御殿に還啓相成りたり(東京特電)

○堤男辭表提出

貴族院議員堤正誼男は健康上の都合にて一兩日前德川議長の手許に辭表を提出せり御聽許の上は男爵議員一名の補缺選擧あるべし(東京特電)

○林公使大連行

奉天にて本野大使と分袂し猶張督軍と會見せる林公使は十八日午前大連著官民多數の出迎を受け大和ホテルに入り夫れより滿鐵埠頭伏見臺其他市中を一覽し正午滿鐵の主催に係るホテルの午餐會に臨み豫定を變更して午後七時列車にて營口に向ひ同地經由歸任す(大連特電)

○共通法案提出

內地殖民地間共通法案は來議會に提出す可しと(東京電報)

○露國藏券賣出

這回日本銀行を經て露國大藏證券價格百五十五萬圓賣出されたり(東京電報)

○陞叙

十八日左の如く陞叙發表ありたり(東京特電)

九州帝國大學醫科大學教授醫學博士 宮入慶之助
陞叙高等官一等
京都高等蠶業學校長 川島勝次郎
陞叙高等官二等

○辭令

十八日左の通り辭令ありたり(東京電報)

任朝鮮總督府中央試驗所技手 朝鮮總督府中央試驗所技師(七等) 海福紀一
任朝鮮總督府郡書記 朝鮮總督府郡守(八等) 趙寬增
任朝鮮總督府檢事(八等) 朝鮮總督府裁判所書記 閔丙晟

○殘黨合同協議

公友俱樂部及中正會殘黨の合同團は觀菊御宴前に於て具體的の協議を爲す可しと(東京電報)

○仁川より

▲商議所議[illegible] ▲久水府尹上京 [illegible]八日午前七時發上京[illegible]は十[illegible]きを以て更に根本的の驅除及び消滅[illegible]栗倉議所は役員詮可後新會頭に對す[illegible]で辭表を提出するに至れり即ち其の[illegible]ところとなし只管陳謝の意を表白せ[illegible]會頭は十六日午[illegible]時より會議所樓[illegible]本岡氏等各々退席遂に秘密會議に移り辭表の採否に關し鳩首協議するも[illegible]込中過つて該木材に毆され眼球飛出し顏面目茶々々となり見るも無慘の[illegible]

○日郵社長更迭說

日本郵船會社に於ける配當問題紛擾の結果近藤社長に對する株主並に一般の不評甚だしく月末開催の株主總會終了を機として社長の更迭を見るに至るべしとの說高し(東京電報)

◎哈爾賓の財界

哈市財界近狀を聞くに本年は哈爾賓地方近年になき豐作にして大豆小麥の結果良好なりし故出來秋に際しては物價下落すべしとの見込なりしに內地米價の昂騰並に豆油の歐洲輸出

▲小麥の米國輸出 盛んなる爲め小麥大豆共に騰貴し小麥は相當日本向輸出之れありたり但し吉林省官銀號と稱すべき廣信公司の二千車買占め大豆受渡しの爲め新豆の出廻案外に早く已に十月央ば傅家甸に二千六百車の大豆集散し之れが爲め豆價月末に於ては一時頗重の觀ありき物資の集散前述の如くなるが故に中旬以後に及びては日本向輸出品買出資金並に大豆買附資金の需要次第に起り殊に二十日前後に及びては小寺三井ソッサード等大手筋の大豆買附盛んなりしかば

▲資金の移動活潑 にして殊に支那側は廣信公司が買附大豆決濟資金の需要多く日露同業者も亦一般に金融多忙なりしが如く、十一月に入りては大豆小麥買附資金のため益々資金を需要し金融界多忙なるに至らん

◎物價益々騰貴
朝鮮生產品は大勢保合ひなるも輸移入品は騰貴一方

京城重要物價の十月中に於ける狀況に付確かなる向の調査を聞くに第一類生產品は同月中前月に比し騰貴せるものは七品小豆、荏子、明太、木綿、紬、木炭、牛蠟にして下落せるは八品乃ち玄米、精米、大麥、小麥、大豆、葉煙草、鹽、牛皮にして保合三品松挽材、松薪、木炭を示し、第二類輸移入品は騰貴七品淸酒、綿絲、和金巾、支那紬、燐寸、金巾、石油、金物にして保合八品低落は一品もなし乃ち大勢騰貴の趨勢にあり其の物價高低の概況左の如し

▲騰貴十四品の內

▲小豆及び荏子 小豆は舊物既に拂底の折柄なるも新物の廻著未だ多からず然も移出向好況を告げたる爲め市價上騰を示したり荏子も新物の出廻り少なくして需要に伴はず自然昂騰を來せり▲明太魚 產地品薄を告ぐると共に一方內地產諸鹽魚高値の影響を蒙り市價漸騰を見る▲木綿及び纖原紬 木綿は需要期に入り賣行き好況を呈し市價騰貴纖原紬は產地の出來高思はしからずして廻著至つて少なく前月來上向き一方にて一疋五十錢方の昂騰を見たり▲木炭 前月來在荷薄なりしに產地筋秋收に忙殺され自然搬出に手廻りかねし爲め出荷極めて少なかりしかば價格一時に上騰を來せり▲牛蠟 品薄の處へ露國の註文に依り賣行き好況なり▲精酒 時節柄賣行き良好なるに加へ產地値段騰貴を示せるを以て冷卸し酒賣買に際し何れも一樽に付二圓の値上げを實行せり▲綿絲 不相變强調を崩さざるは輸出棉布の增進より來る製織原料の缺乏原棉の突飛的騰貴に加へ月末米國の東洋棉布買占めの噂等に幾多强材料續出せるが爲めに斯の間英國のメリヤス輸入禁止說の傳へられしにも不拘本品の相場は昂騰相次ぐの狀なり▲和金巾 米棉高輸出旺盛等騰貴材料前月と異ならず爲めに依然强調を示し倍高値を唱へつゝあり▲石油 需要期に入り荷動き好況を呈しつゝある矢先き內地に於ける値上げに連れ一函に付五錢の値上げを見たり▲燐寸 阪地品拂底の爲め入荷面白からず從つて當地に於ても品不足を告げたる折柄先高見越買ひ等加はり且つ輸出向不相變旺盛なるを以て市價强氣一方に傾むき前月より六圓(一噸)に付又々二圓方の騰貴を示したり▲金物 前月來品薄と需要著しく增進するとにより前値一方なりしが中旬頃より鐵板亞鉛板類を除きたる各品は少しく鈍狀洋鐵類の如きは幾分下押に傾き商狀沈滯たる裡に越月せり

▲低落八品の內

▲玄米及び精米 前月を保合の裡に過したる米價は本月に入り新穀の出廻ると共に前途安見込みの買控筋多かりし爲め追々下押となり月初より約一圓以上の下落を告げて越月せしも玆目先き仁川定期の大取組を控へ一寸下止まりの氣味なり▲大麥及び小麥 大麥は月初まで前月來の價格を保持せるも既に需要期をすぎ他の新穀の出廻りと共に本品の捌け口を鈍り月央後五十錢方の下落となり三圓を唱へて越月し小麥は前月小戾りし强氣を見せたるも本月に入り廻著少なからざりし爲め又低落に傾けり▲牛皮 露國軍需品の第三次注文決定說傳へられ上旬迄前月來の商値を維持したるも中途注文立消の姿となりしものから中下旬に亙り漸落を告げ取引捗々しからず甚だ閑散狀態を現出せり

◎北鮮航路盛況

商船朝鮮其他の北鮮航路の近況を聞くに北朝鮮一帶農作豐饒漁業殷賑による購買力の增加に伴ない內地及び南鮮よりの諸雜貨食料品並に粗布類の仕向け夥しく又甲山久原銅鑛行きの諸機械類も每航少なからず船腹常に充滿しつゝあり而して復航は西水羅より發送する營林廠材並に各港に於ける明太魚の漁獲例年より早く然も盛況を呈しつゝある爲め何れも積み切れざる模樣にて且つ船客は浦鹽歸來の鮮支人土地調査局測地課員の引揚げ淸會線工事に關する往來等輻輳し活況を呈しつゝあり

◎紅蔘製造終了
製造總量五萬六千餘斤

九月十三日より收納と共に製造を開始せる總督府度支部專賣課開城出張所の本年度紅蔘製造事業は十一月十五日を以て假藏置作業を終了せり調理其の他全作業の終了を見るは十一月末なる可く本年は製造期間に於ける氣候適順なりしより收量激增せるに拘らず前年に比すれば約半箇月を速むる見込なりと而して本年度の製造高は本、與兩種を合し四萬二千三百六十九斤にして之れを前年度の製造高に比すれば約二萬斤を增し又た本年度の豫定高に比するも六千三百餘斤の增加にして尾蔘其の他を合せる全紅蔘製造數量は實に五萬六千三百五十九斤の多きを見たり因に本年の製造從業者數は開始以來の延人員男一萬四千三百十九人、女九千百六人合計二萬三千四百二十五人にして前年に比し八十餘人を增加したり

◎移民審査續行
承認せし者四百戶を超ゆ

東洋拓殖會社第七回移民承認審査の進捗狀況を聞くに既に申込者に移住承認の通知を發せる數は今日迄の所約四百戶に達し尙ほ審査の續行中にあり而して會社は一方移民家屋の準備を各出張所に命じ相當執り行はせ居れるが應募移民は昨今と雖も九月三十日前の申込みに係る分各府郡廳を通じ續々會社に到著し總數千戶以上に及びたりと

◎立花中將歸京

大演習陪觀の爲め福岡縣下へ出張したる立花第十九師團長は十八日午後八時五十分龍山驛著歸任せり

◎古海總長歸任

大演習陪觀の爲め福岡縣へ出張しだる古海警務總長は十八日午後九時南大門驛著歸任せり

◎中村檢事長上京

中村京城覆審法院檢事長は東京に於て開催さる可き司法官會議に出席の爲め來る二十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上す可しと

◎道廳擴張工事落成

京畿道廳內に新築中なりし財務及び勸業の事務室約八十坪は此程落成し月末迄に全部の設備を終り引移りをなす筈にて階上は第二部長及び財務係階下は勸業部の事務室に使用することとなりたり

◎村地府尹視察

元山府尹村地卓爾氏は事務視察の爲め平壤鎭南浦を經て十八日午前十時來仁居留地火葬場等を視察の上一泊十九日京城に向ふ(仁川)

◎仁川外三郡參事諮問會

京畿道の仁川、江華、富川、金浦等の各郡參事諮問會は二十日仁川に於て開會し松永道長官は車田事務官、後藤書記を從へ出席すべしと

◎大連に大陸青年團

金子平吉氏を團長とせる大陸青年團なるもの大連に生る同團は大陸に居住する者を以て組織し其の目的とする所は精神的新日本を建設す可く主として青年の品性を修養し高潔なる志操と剛健なる氣象を以て忍耐克己忠實勤勉各其職に勵精し大陸經營の急先鋒たるを期するに在りと而して同團は評議員委員幹事等の役員若干名を置き每月例會を開きて修養上の談話を爲し又臨時に名士を聘して講演會を公開し兼ねて雜誌を發行する由

露領行記
□湖畔の情趣 (第廿一信) 琴花

○覺めよ悟れと囁きし曉星も緣ある衆生のなしと薄れ行くに連れて正大の浩氣次第に消散し、浮世の覊絆更に幻境に開きて貝加爾湖の夜は今明けんとするなり。

○之を南北に斜視れば縹渺として空か水か、之を東西に見れば岬角灣濤幾度か出入して對岸の山近きは三里を隔つに過ぎず、長汀曲浦のあれやこれや我が國のそれと光景異りて何となう悲しけれど波紋激灔として玲瓏雪白く、左右に分るゝ一帶の翠藍碧の色は昔も今も永へに、某の峰焦水に映じて繪に似たり、ムイソーワヤ驛は後貝加爾鐵道の全通せざりし往年湖上の渡し場たりしところ、矢走の歸帆とも見ば曠々たる向ふの峰は比良の暮雪にも擬せむ、兎にも角にも西比利亞の野は沖の白帆の風情なくも鷗眠げに鳴き渡る此の靜けき湖の展開によりて活くるを覺ゆ。

○無情なる列車は幾多の利慾を載せて徒らに淸き渚を驚かず、文明の利器なるものは湖神に取りていかばかり迷惑のものたるべきか、同情の念に眺むれば波の皺、氷の顏に老たるが如し、午前七時タンホイ驛に停車する一時間稅關吏の荷物檢査を受く、地蒙古に接し支那人の密輸入を企つるものあるに因るとかや、滿洲里を發して稅吏の臨檢こゝに三度、乘車券の入鋏に至りては其數を知らず、穿孔蓮窠を成すに至る、景趣に對して不作法の極みなり。

○湖畔に沿ひ屢ば半圓形に山麓を繞ること凡そ七時間、隧道徒らに多くして其數三十二に及ぶ、行ひの慚愧滋きやからは宜しく入りぬべき穴を此處に求むることそよけれ、午後二時貝加爾驛に至りて湖影に訣別し、アンガラ河の左岸を駛る、河畔の風光甚だ明媚なり聽て丘上高く兵營を望み河を隔てゝ亞歷山王第三世の銅像乾然東に面して一公園の中央に睥睨するを見るイルクーツク市乃ち是なり、三時半驛站を出づれば駿ましき鞍毛は我等を橇に打乘せて驅驅一瞬ボリシャーヤ街なる中央旅館に送る(廿六日夕)

人事消息

▲神林啓太郎氏(成興炭礦社長)十九日朝來京
▲山崎元英氏(工學士)十八日夜來京
▲林慶二郎氏(大倉社員)同上

南言北語

米國では例の婦人參政權運動が熾烈の結果今度モンタナ州の下院議員にゼネット、ランキンと云ふ婦人が選擧せられた▲而して其が爲め世界最初の婦人政黨發會式と云ふ奇妙な會が市俄古で開かれた▲集つた婦人政客一萬五千人マベルヴアーン孃が男性も及ばぬ大氣焰を吐き滿場破るゝ許りの大喝采▲と云つて米國でも或州では婦人參政權が與へられてあるけれど合衆國としてはまだ與へられて居らぬ▲而し婦人の投票權は與へられて居るから今度の大統領選擧などでもウイルソン氏には四百萬の婦人投票があつた相な▲選擧に婦人を使うた事はヒュース派も却々やつたらしい▲女流演說家を集めて汽車に乘せ有名な女優マリー、ドレスラなどは▲メカホーンで『皆な來て米國最初の女流選擧列車を見よ』などゝ叫び▲婦人連は盛裝して大に政治演說を試み男子の度膽を引き拔いたと云ふ▲米國としては婦人の參政權もよからうが米國の女は兵隊にする爲に子は育てぬと云ふ歌さへ唱ふほど戰爭嫌である▲ウヰルソン氏の平和主義の勝利を得たのも此の邊から大分贊成を得た譯でもあらうが▲斯う云ふ絕對平和主義の婦人政客が隨所に現はれて此の極端な平和主義を唱道したら米國の國防を何する▲今の中に速に女の有權者の政治敎育を施さねばならぬと躍起になつて居る人々もあるとは御最千萬▲女子と小人は養ひ難しだが之迄女がのさばり出しては何とも申上げ樣がない▲日本の女流界と之とは反對に妙に變化して行く樣なが聊か心配になる

おれは本校を卒業した通信農學士だ

高等官で年俸貳千圓取りて居る此の老紳士の如き生涯を送らんとせば直に本紙名を記しハガキを出せば本校に成功案內規則經書無代進呈す、文部省令に準據し中學甲種農學校程度の農學科を通信教授し卒業後帝國大學農科に入學せしめ卒業後得稱號認許

▼總裁二條公爵 ●校長中西子爵 ●教授佐藤博士宮部博士南博士橋本博士 ●外百名
東京市本郷新花町 電話下谷五一三九番 大日本通信農學校

●●舶來ストーブ新荷著
奉天製胴張ストーブ
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 振替京城二五六番 電話長四五、二七七四番

日韓書房 新版報告
杉村楚人冠著 弱者の爲に 定價一圓三十錢 送料十二錢
村井知至著 聲 定價一圓三十錢 送料十二錢
德富猪一郎著 大正青年と帝國の前途 定價八十錢 送料十錢
長岡春一著 大戰外交史 定價一圓五十錢 送料十六錢
大谷光瑞著 放浪漫記 定價三圓 送料十六錢
京城本町二丁目

日本幼年

十二月號 價一冊十二錢 半年分七十五錢
日本幼年ノ十二月ガウガデキマシタ。キレイナエオモシロイオハナシガタクサンアリマス
倉橋惣三先生監修
本誌は一枚の畫一行の辭句と雖も子供方に惡影響を及ぼさぬ樣にと最綿密な注意を用ゐてこしらへてあります。お子さんをのんびりと子供らしく育てやうと思はるゝ世の父母方よ。安心して本誌を愛兒方にお與へ下さい

東京 東京社 振替東京 四九〇〇

京城電氣株式會社 朝鮮瓦斯電氣株式會社 電機金物 商 巴商行 龍山漢江通八番地(電話四二四番) 樋口米太郎
右兩社製品 コールター一手販賣 同 行鑄物部 佐久良座横
大阪久保田鐵工所代理 同 京城黃金町二丁目(電話一四二五番)
東京神奈川電氣株式會社代理 同 行電機部
石材(花崗石)販賣幷行持山(往十里)
今般釜山朝鮮瓦斯電氣株式會社製品コールター一手販賣仕候に付引續き御購求相成度此段願上候

[illegible]及び評議員會議規程を新たに制定すべしと

▲伊藤所長出張 遞信局海事出張所長伊藤清七郎氏は阪神地方に海事々務視察の爲め十八日[illegible]

[illegible]は要にペスト豫防上[illegible]に對し防鼠の設備並に殺鼠器捕鼠器の配置方等鼠に關する件を示達し置きたるが未だ成績の見る可きもの無[illegible]査施行せしめつゝ有り▲十七日西石町花房町支那町仲町本町▲十八日[illegible]▲十九日宮町數乃町湯町桃山町寺町▲二十日內里外里龍山根町碓岡町牛角里松林里

●元山商議員辭職

元山商[illegible]するに當り去る十五、十六の[illegible]にて突如副會頭藤澤忠太郎、評議員龜谷愛介、小田村廣助、岡野四郎助、本岡卯之吉、安廷協、李秉均の七氏ま[illegible]之を[illegible]安廷協の四氏は評議[illegible]に際し代筆投票者を出し紛爭の因を醸せるは全く[illegible]監督不行屆の致す所[illegible]理由として共に及川新會頭の手許まで辭表を提出したり右に就き及川新[illegible]止むなきに至るまで[illegible]な述ぶるところあり[illegible]

▲現物界[illegible]

●二十餘個の官私印僞造

大仕掛の詐欺事件公判＝峻嚴なる檢事の求刑＝證人の喚問十數名に及ぶ

大仕掛の詐欺事件として世間の注目を惹ける京城櫻井町二丁目居住山形縣西村上郡醍醐村生れ彫刻塗物業大泉友治郎（三〇）及び櫻井町二丁目居住群馬縣新田郡鐵塚村生れの代書業町田庄作兩名に係る官私文書僞造行使詐欺贓物收受事件の第三回公判は十八日午後一時より京城地方法院に於て塚原裁判長、石村、山口兩陪席判事園部書記の係り境檢事の立會にて開廷せり

今兩名の罪狀を記

さんに友治郎は昨年九月頃京城監獄より共進會への出品物彫刻方を依賴され彫刻中大阪樋上町生れ新町遊廓大壽樓の抱へ娼妓ぽん太事森まき（二三）の色香に迷ひ込みたるが原因にて負債嵩み既に千五百圓の一番抵當に差入れある自分の居宅を櫻井町二丁目居住安藤某に無斷なりと詐稱して之を二番抵當となし昨年十一月中前後四回に八百圓を信用名義にて騙取したるも金が不足の爲更に町田庄作と共謀し舟橋町居住の實姉なる花輪さとの名義を冒用し『はなわ』と彫刻せしめたる

僞造の印章を押捺して自分及び妻と姉との三人名義の連帶借用證書を僞造し櫻井町二丁目富田某より前後二回に亙りて二百十圓を騙取したるも尙懲らず友治郎は本年三月前記實姉なる花輪方に到り家人の不在中同家の所有に係る黃金町四丁目所在土地家屋の文券一通を窃取し是を種として彫刻業南里某外二名に依賴し『慶、在天、金光仁、尹、吉田、太田定、京城府、大正年月日、證明、受付、番號、證、明、順、金谷、渡邊、安藤、花輪、李在根』等の印刻を彫刻せしめ友治郎自身が彫刻せる『元、朝鮮總督府、尹、京城府財務係月日』等を彫刻し

以上の僞造印章を以て之れが手續きに明るき庄作と共に姉の家より窃み來りたる文券に對し京城府尹が證明したるが如く裝ひたる土地所有權證明、證書、委任狀連帶借用證書等の官私文書十餘通を作成し之を擔保に提供して初音町居住金貸業小松某より手數料、利子金、火災保險料等を差引きたる現金一千九百八十八圓餘を借用名義にて騙取し友治郎は幾分を庄作に與へ殘金を携へてぽんたの許に至りて落籍をなしたる後現金四百五十圓を交付し僞造に使用したる二十餘個の印章を悉く燒きしも後犯罪の發覺を恐れて友治郎は一度自殺を企てたるも果さず遂に南洋地方に逃亡せんと目論見東京大阪等を遊び廻り居たる間小松に告訴せられて發覺したるものにて京城地方法院にて既に三回の公判開廷せられ關係者證人等の訊問を受けたるもの十數名に達したり友治郎庄作兩名には大久保武智星田の三辯護人附添ひて森まきには小川訴訟代理人附添ひて著席せり開廷に先ち友治郎庄作の兩人は看守に護られて入廷せるが何れも頭は五分刈にて銘仙の羽織に庄作はセルの袴を穿ちゐたり、まきは目下保釋中なるが腸窒扶斯の病み上りとて髮の毛も薄く

顏色靑ざめ悄然と被告席に著けり尙本件に關係せる貸主小松某外一名の證人も入廷し傍聽者二十餘名あり塚原裁判長は先づ森まきに對し事實調べをなしたるがまきは裁判長の問に對し本年三月三十日友治郎より三百六十五圓の現金を情を知りて受取りたる旨答へ共犯を等をも供述し次いで證人小松の審問に移りたるが『私は無學です』と頭を幾度も下げて恐縮しつゝ『庄作の言ふ事は皆嘘です』と打消し懷より何枚も書類を出して示せり次に加藤稻松の證人訊問あり斯くて取調べ終結し立會境檢事は

威嚴ある口調にて

『本件は被告友治郎が一婦人に迷ひたる結果斯かる大罪を犯すに至りたるは言ふ迄もなし併し庄作は共謀し居らず只捲き込まれたるが如く申立つるも斯かる巧妙なる且又大膽なる犯罪を敢行するに際し被告友治郎一人のみにては到底遂行し得べきものにあらず殊に被告等は今日迄永き間の取調にも悔悟の色更に見ねず友治郎は刑事に取押へらるゝ間際迄大壽樓に登樓して匿れゐたる點より考ふるも酌量減刑の必要を認めずまきは贓物牙保にあらず收受なるを以て處分すべく依つて被告友治郎を懲役五年、同庄作を二年、同まきを懲役二箇月に處せられんことを望む』と求刑して著席し次いで各辯護人の辯護ありて午後六時頃閉廷せり

●シーメンス事件 權藤氏等無罪

十八日午前九時東京控訴院に於てシーメンス事件被告ブラルデル權藤震二、上田碩三に對し何れも無罪の判決言渡ありたり因に權藤震二、上田碩三兩氏に對して被告事件の性質犯罪を構成す可きものに非らずとして第一審に於て無罪の判決言渡ありたるも檢事之を不服とし控訴したるもの也（東京電報）

●物騷なる大連

大連市中は昨今又復物騷となり怪しき支那人の發砲せる事件に次で十六日午後三時相生町の滿鐵埠頭事務所員山村方へ兇器携帶の日本人強盜押し入り妻女を脅迫して金品約四百圓の物品を奪ひ逃走せり冬期に入り就職難の爲め浮浪者多く支那人浮浪者も少なからず市中何となく物騷なり（大連特電）

●四百名の小作人暴行を演ぜんとす

京城進明女學校理事小杉彥治氏は仁川警察署管內永宗島に赴き同校所有地の小作料を徵收し居たりしが同島小作人三四百名は屢々小作料徵收員に對し脅迫的の言動を弄し居たりしが此程に至り益々不穩の狀を呈し大擧暴行もし兼ねまじき形勢なるを以て小杉氏は倉皇仁川に歸來し直ちに仁川警察署に保護方を願ひ出でたる由なるが其結果中川警部外二名の警官は急遽同島に出張したる由なり（仁川支局）

●豆滿江の結氷

豆滿江下流慶興附近は十四日以來結氷し十五日より交通杜絕せり同江の結氷は昨年に比し三日早し（淸津特電）

●天の罰は覿面

仁川花町一丁目六 韓吉三方安吉千（四二）は本月十一日同町某家に於て知人數名が車座になり賭博をなし居たるを戶口に立つて眺め居たるが其中の一人が見咎めて室內へ入れと言ふや突然同町二丁目韓致三（三八）の頭上に拳骨を御見舞ひして巫山戲散らすより韓は大に怒り同人を强たか毆打したるが此れが爲め安は身體の自由を失ひ韓吉三も介抱に窮したるより翌日同人を韓の居宅に運び込みたり然るに病勢日に募て十六日午後十一時頃死亡するや韓は大いに驚いて死骸を其儘にして何れにか姿を匿したるが後に此事發覺し警察署よりは中川警部井上警察醫員其他係官數名出張十七日午前九時より現場に於て解剖に附したるが死因は毆打の爲め尿毒性を發したるに依るものと判明し犯人は同日市中を彷徨中逮捕せられ目下仁川警察署に於て取調べ中なりと

◆厚物の珍品 多田氏愛藏

山林課の主任から慶尙北道に轉じた多田氏も亦た京城に於ける有數な菊の栽培家で大和町の官舍前に廣い地面を持ち其處で年々百數十鉢の菊花を培養して樂むである

同氏は例の秋季會員で年々東京の同會から數十鉢の新種を仰ぐのみでなく秋田や京都などより絕へず珍物を引くから培養の菊花は厚物とはず一文字といはず何れも天下の尤物逸品許りで常に同好者が羨望の的となつてゐる此の圖は厚物中の珍品を寫めたものである

●雪の茂山嶺越に

懷かしき馬蹄の音＝氷點下九度

茂山嶺の峠に登ると陸軍で立てた一札がある。それには『明治三十八年八月下旬吾が北韓上陸軍は少許の騎兵を輸送して此地を占領し將軒富寧間に集中せる主力の警戒線とせり』と筆太に記してある。富寧、茂山それから茂山嶺苦戰時の古戰場だ、其の前後雨がドシヤ降りに降つたのと糧食が續かぬ爲め

■吾が行軍の苦痛は並み大抵でなかつたさうだ。今井氏と記者はトロを殘して國道を飛ぶやうに下つて行く、吹きつける風が烈しい、それでも歩くと若干體溫を恢復したいたであらう、然も尙ほ八里の道なれば或は吾々は此儘步び寒氣に苦しめられつゝトロに上るの外はなかつた、振返ると雪み飛だいた道はすぐ後方に變じてゐる、自轉車に乘つた給人體の男が二人吾々を追掛けて國道を走る、約二十町も歩いた頃早くも追越して吾々を待てるトロのヨボがもう大丈夫だから乘れと云ふ、で吾々は又トロに匿んで腰かけた、ヨボは二人に減つて後部に乘つてゐる、台車は下り勾配を矢の如く走る向ふ風が矢鱈に吹きつける、漸く茂山嶺を下り切つた頃會寧に行軍した騎南騎兵聯隊の

■全部が威風堂々と茂山嶺に差し蒐つてゐるのに會つた『騎兵聯隊が來る、かうした所で吾が軍に逢ふのは何となく氣强いね』隊伍を組んだ日本兵を見ると如何にも强さうで勇ましい』とこんな事を吾々は寒さに慄へ乍ら話し合つた、馬蹄の音は聯隊が過ぎ去つた跡まで明らかにトロの上まで聞きとれたのであつた、臺車は漸く平地に出て快闊する、すぐ雪を被つた鐵道線路の築堤が右側に長く現はれる

■工事を盛んに進めてゐる騎兵聯隊の糧秣輸送らしいトロが二臺續いて來た、それから朝鮮專を發したらしい歷元豆を積んだトロが續々來る、吾々は其の都度下車して彼等に道を讓らねばならなかつた。古豐山に著くと臺車押しは姑らく休む、吾等も下りて[illegible]雨地に入つたが、烈しい寒さは一刻の靜止を許さぬ呻吟するやうな聲を出しつゝあちこち步いた。此地で今日の溫度を聞くと零下九度と云ふ零下九度の寒さに此の颶風を眞向ふに受けるのだから其の苦痛は素然であつた、古豐山は元一寒村なりしも鐵道工事の爲め近時大分繁昌してゐる、新らしいトタン屋根がそこ〳〵に見ゆる工事關係の

■內地人も可なり入り込んでゐるこの邊だ古豐山から金洞を經て中島に通ずる、雪は漸く薄らいだが寒氣は刻一刻に酷く全身半ば凍れるやうになつた吾々は寒い〳〵と云ふ外容易に口を利かなかつた 線路は多く右岸を走る、去年及び今年の水害で會寧川の上流たる此地方の慘狀は甚だしく一村盡く流されて全滅したのもある、爲めに河身に變更を來し川幅は著しく擴がつてゐる平地もあるけれど地質がよくなくて粟より外は作れないとの事であつた、中島の鐵道停車場で少し許りの火に暖をとらうとしたが之も無駄であつた、寒さはそれ丈け烈しく冷えてゐるのだ、中島から會寧迄は約三里、一時間の行程だと聞く、前方に出るとつひ豆滿江對岸

■間島の山々が遙に靑く見ゆる、間島の山々！そこに記者の視線は姑らく注がれた、トロの空車が來る貨車が來る此方で降りたり向ふで降りて貰つたりする內地人婦人が四五才の子供を擁して乍ら臺車を下りて吾々のトロを通して呉れたりして會寧に約二里の附近に來ると

■山間は漸次擴大し遂く會寧市街が眼界に入る『最も近く見ゆる建物が工兵大隊です』今井氏は云ふ、トロは急ぐ會寧が段々近づまる、約三十町と云ふ所で小高い丘にトロは登る、そこから下りと無理斯に突破した、酷い風、酷い寒さ、會寧の兵營が森林と連なつてゐる。工兵聯隊步兵隊の前を通過して午後五時會寧停車場に下りた、記者も今井氏も半死半生の體で步行は寧ふにして出來たのであつた、記者は會寧館のオンドロに飛び込んだが烈寒に苛まれた身體は毛も恢復せぬ、乃ち風呂に約三十分も湯手浸つてゐたから漸く人心地附いて來た、ホッと一息ついて今日の幸い旅を回顧つた、それでも時日の都合上休息も出來ず六時半今井氏を舍宅に平田憲兵大尉を官舍に訪問して話を聞きつゝ色々の參待に與り十一時頃床に就いた（了）（會寧にて西海生）

●八百圓の行衛 慶南金海郡

鳴旨面海天里穀物商黃正虎（三七）は穀物買出しの爲め本月六日慶北達城郡求智面臺岩洞徐文一方に止宿中一人の男が隣室に臥寢したるも同宿人ならんと思ひゐたるも翌朝に至り所持の金員八百圓が紛失し居るを發見して其筋に訴へ出でたるより官憲出張、同宿人二名を取調べたるも其形跡なく全く外部より忍び込みたる賊が家人の風を裝ひ件の金員を窃取したるものと判明し目下犯人嚴探中

●夫を殺さんとす 平安南道

郡南串面覺今里金永範の妻崔桂月（十七）は十月卅九日午前一時頃同衾中の夫金永範を秣切庖丁を持て殺害せんとしたるも急所をはづれしため果さず崔桂月は即時平壤署に拘引され取調べの上十一月十六日平壤地方法院檢事局へ送られたるが原因は夫が年少者なるを嫌ひて他に情夫を作りたる結果なりと

●保釋中に逃亡 愛知縣豬名

郡高針村加藤峰吉長男建一郞（二〇）は去る六月頃大阪市堂島町二丁目田中完藏方に看板書きの弟子入中同人所有の現金百圓を窃取し大阪控訴院に控訴して懲役一年に處せられ不服上告中病氣にて保釋となり居る者なるが去月廿九日家人の隙を覗つて父の金卅一圓を持出し去六日連絡船新羅丸にて釜山に高飛し來り長崎市萬屋町山田定と自稱して釜山各所の宿屋を轉々し金に窮して龍頭山組となりて惡事を働き去十一日大廳町大阪屋書林に至り新小說及びうきよ等數點價格二圓餘を胡魔化して大廳町田中古物店に六十六錢で賣り飛ばしたる事を探知され釜山署の手に捕はる

◆泥棒と智慧比らべ

忠南扶餘、舒川、保寧等の諸郡に亘り本年四月以降强盜被害頻出し最近に於て十數箇所を荒し廻りたる數人組の兇賊ある事判明せしも出沒極めて巧妙にして蹤跡を知るに由なく且つ庖丁及び棍棒を携へ家人を毆打脅迫して金品を强奪する手段が同樣なるを以て之れを手掛りに舒川警察署にては苦心に苦心を重ね賊と智慧比べをなしつゝ極力行衛を嚴探中此程其の一味なる忠南扶餘郡鴻山面南村里の李水學（三〇）同郡鴻山面[illegible]里金宇水（二九）金成鎭（三九）の四名を逮捕し嚴重取調べの結果尙共犯者四名あり都合八人組を以て數月より現金を初め衣類雜品數百點を强奪したること判明し殘りの賊に就ては引續き嚴重搜索中なりと

◉痘疫と貧民救助

九月二十八日以來大邱府に於て虎疫發生の爲め交通遮斷區域內に居住せる貧民にして救助せられたるもの十七日に至るまで延人員一萬五千百四十四人是が金額一千四百十圓に達せりと

●女の群

秋闌けて弗々と動き始める

雁が渡り初める晩秋から年末にかけた二三箇月の間は女中、酌婦、娼妓藝妓の如き漂泊の女の群が慌しく動搖する

◇時季で ある、仁川には目下二軒の周旋屋があるが其の話に依ると暑い盛りに出した氷屋やビヤホールなどは寒くなると燒芋屋うどん屋などに稼業替をする爲め自然女も不用になるそこで斯うした群は

◇秋の聲 を聞くと夫々女中奉公や酌婦娼妓になる然し一度爛れた空氣の中にあつた者は堅氣な家の女中奉公などに向かないので一二箇月した昨今主人に愛憎を盡かされるか自分からオン出るかして少さい風呂敷包を抱へた丈けで周旋屋の

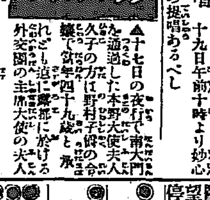
◇暖簾を 潛る者が多い、此等の女の中でも運のよいのになると初頭の口に居付く者が多いが大抵の者は結氷の聲を聞く迄は三日勤めては戾つて來一週間奉公しては周旋屋に苦情たら〳〵歸つて來るので

◇稼業柄 としては出入の頻繁丈け儲かる理だが女の身に取つて隨分心配な話である、[illegible]景氣每に出入が激しくなるが仁川では秋からかけて僅の間に[illegible]丸等の上玉が木浦京城龍山大阪鐵原方面に轉籍（したので花柳界は

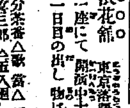
◇凋落の 秋と言ふ感じが痛切だ、娼妓も移動が多いが此等は何れも借金が嵩むのと、土地に厭きたのとよい客筋が見つからぬと、家庭の事情等が原因であるから仲には親に喰物にされる妓もあり、年越の難澁から賣られる妓もある又景氣を當込んで玉を探がしに來る樓主もあるので、今が周旋屋の書入れ時である相な（仁川）

◉仁川メソヂスト敎會 仁川メソヂスト敎會にては十九日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說敎午後七時より傳道說敎ある由

◉妙心寺の提唱 十九日午前十時より妙心寺に於て無藝禪師の提唱あるべし



▲十七日の夜行で南大門を通過した本野大使夫人久子の方は野村子爵の令嬢で數年前四十九歲と承れど少しも道に離れ都に於ける外交團の主席大使の夫人として交際場裡に立てられた丈あつて三十そこ〳〵なる華かなお化粧振り▲黑いスカートに淡かと思ふ純白上著の上には同じ色に千鳥の飛模樣を絢爛ぜるヴエールを無造作に引かけ左右の腕にも指にもさても輝飾にもダイヤプラチナの輝き燦として眩しい許りの飾ひ▲お顏立はお父樣の野村子爵そつくりな櫻色の艶々しい黑の髮を央から分けて結はず笑なたいねての悠揚振りやがては寺內內閣の外相夫人として交際社會に時めく折もさこそと思ひやられる▲日頃恩顧を受けた吉原綠藏が危篤といふのに例の持病の癪を起し奧の一間でウン〳〵呻つてる十七日の午後千代本のお千代の前へ脫爪らしい一通の親展書が舞ひ込んだので展いて見ると▲千代本とあらうものが妾、女、關の紙障子位は時々張換へては如何せめて破れぬ程度にはして欲しいもの―とあり更に吾輩有志相謀り茲に紙代として金子若干也（別封）寄附致し候右無禮さあらばそれまでの事一應屆け候と記した美事な筆蹟▲その別封といふのが緣起でも無い黑熨斗つけ蜘蛛のやうな蛙のやうな蟹のやうな形をした墨色の無氣味な紙を貼りつけた紙包に情の露と淸書で記し金十錢の郵便切手が這入つてゐる有樣に喫きし出しも氣も惡くもしたか▲障子の破れ位は廣い家の中に目溢しに有勝の事ごうもそればかりでは無いらしい謎のやうな手紙の意味が朝から浦潮に埋めた重い頭では判斷が出來ず三人寄れば文殊の智慧他人の力で解いて貰はうと思つてか旭町一丁目漫語ひ吉田千代といふ觸れ込みで無佛本社長宛に送つて來たが▲此謎中々解けさうもないので『うはさの噂』にでも紹介して置いたら解く人もあらうかと斯くの通り▲その吉田ちよクンの手紙の末に一句書きつけてある曰く『戀人が香散り行くや秋の暮』ハテナ



△浪花節 東京落語橋本川柳一座にて開演中十九日夜十一日目の出し物は左の如し ▲一分茶番△歌齋△一ト目上り都遊△なかなかなり客三郎△五入通しくらく△わきわき聽溪△お花牛七夢醉△あわ餅松△金閣寺から口△出來心市兵衛△香由勸進帳玄之助▲船德『ナリサビ』川柳

△稻荷座 十八日夜は京城三券番藝妓の總見あり頗る盛況なりし十九日出物は左の如し △伊勢參宮（紋四郎）△高宮川（紋三郎）△四つ池飛脚（紋二郎）△波平行安（紋蓮）一枚昭謂（紋六）△出來心（紋八）△天犬（紋七）△年の子紋之丞△臍消し（紋兵衛）△立切 穀香（紋右衛門）

△紋右衛門十九日限り 稻荷座の三升家紋右衛門は十九日限り打揚ぐる由

京日案內

普通 一回前金一行三十錢 番外 一回前金一行六十錢 ▲申込後中途揭載中止の節は料金返戾せず

日鮮男女外交員募集 月收五十圓確實 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城初音町六十二番地 國民書院 751

▼朝鮮に關する書籍類は報告者に至迄一切取揃 京城本町二電（五七） ウツボヤ書店

給仕採用 年齡十四、五、六歲尋常小學卒業以上希望者は履歷書携帶本人來談あれ 東洋拓殖株式會社 749

狂犬病豫防注射◉家畜診療犬猫診療入院卅五錢◉本町三の七十番地 電話取次一二四一番 高木獸病院 748

◉金融 官吏商人理髮店に極秘信用 月賦日掛貸金委細來談を要 本町電車終點 質商 大和屋 747

店員入用 要保證人 專賣菓子卸商 吉野町一丁目九一 漢陽堂 746

醫師助手看護婦見習若干名傭聘す 希望者本人來談但午後中 京城古市町停留所前 南森醫院 電一二五二番 742

◉電話讓受けたし 京城本町 飯塚 744

◉習字御手本類は何でも有ります（目錄送呈） 東京市南神保町九 精華堂法帖店 743

◉古本熱心高價買入 ▲御報參上 ◉是非御試買を乞ふ ▲本町四 電話二七八一番 ▲書肆群書堂 713

◉女事務員及女外務員採用 希望者履歷書携帶午前中本人來談 旭町一丁目白水下 朝鮮割烹講習會 732

番外 ◉質 開業 濱田 黃金町三丁目十五番地 永樂町停留場北入萬成舍隣 750

移轉 て新築中の處落成 本日移轉仕候に付 不相變御愛顧を乞 ▲山田文珠堂藥房 京城黃金町三新道四つ角 電二九四九

店員入用 但十七八より二十二三歲位の者 市內に確實の保證人二名を要す 旭町二丁目 後藤酒造場 721

賣果樹園 京仁沿線八千三百餘坪希望の方は御來談を乞ふ 京城南大門通三丁目 松原果物問屋 736

店員入用 確實なる保證人一名 證人を要本人來談 ありたし 旭町 川西食料品店 735

◉京城春川間行自動車賃金片道四圓 ◉京城春川間每日午前八時出發 ◉南大門通一丁目 電話二一九番 京春 廣橋自働車 主務 金正淵 630

恩給 年金 長期 即時現金立替 短期無保險月利一步二厘五毛 京城南大門外（蓄御成町） 山口屋 699

勸業債券高價買入 並に月賦濟勵販賣 京城太平通二丁目（電話一八三二番） 商業銀行債券部 722

◉はねつき うちみ くじき 等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 584

恩給 年金 低利 即時現金立替 短期無保險並に勸業貯蓄債券買入 京城永樂町二丁目（金光教北手） 國江商會 643

毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電二〇六五 棒元商行 612

恩給 年金 低利 長期即金立替 ▲當分最長期融通▲京城永樂町一 商品陳列館表門前 江州屋本店 654

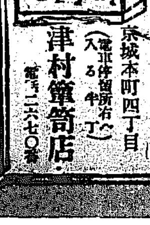
京城春川間 乘合 自働車 賃金片道四圓 ◉京城發前八時 春川發前八時 ◉京城水標橋通り 京春自働車商會 電話貳壹參八番 支配人 松田壽男 631

朝鮮總督府遞信局 競爭入札購買 一、電信電話用硬銅線類、室內ゴム線類、受話器紐類、振動板其他金具棒類、クレオソート油、丹礬、乾電池、亞鉛板其他、電池亞鉛其他、以上拾件 詳細八十一月十八日本府官報ニ在リ

蘇峰 德富猪一郎著 增補 世界の變局 五千部限 特價貳圓 送料十二錢 上製菊版紙數六百頁 定價金二圓五十錢 最近五十年間に於ける世界大勢の變遷推移、列强の合從離合、各國民の消長盛衰、主動的人物の企畫經綸を詳叙し以て日本帝國の將來を達觀し日本國民に多大の警告と暗示とを與へたる世界的名著也。 發行所 東京京橋區日吉町 民友社出版部 賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話六六〇番 振替京城三〇〇番

新刊書御案內
書名 著者 定價
◉大正五年版現行法令輯覽上下揃 內閣記錄課編纂 特二、〇〇
◉訂正增補 第廿八版 財政と金融 田尻稻次郎 特四、三〇
◉南洋南支寫眞帖 吉武源五郎 上八、〇〇 並五、〇〇
◉法理詳說 判例參照 實例引用 債權者の法律顧問 特一、八〇
◉宗演禪話 釋宗演 九〇
◉大正の靑年と帝國の前途 德富猪一郎 八〇
◉新語與成漢和大辭典 吉川秀九郎 特三、〇〇
◉自家用發電所設備並工事法 前編 林範三 一、六〇
◉教案中心修身教授の實際案下卷 阿部正 九〇
◉現代少女と其教育 沼田笠峰 九〇
◉現代女子作文 內山舜 一、四〇
◉官公吏必携 書翰と式辭 鈴木魅 八〇
◉最新詳解 帝國陸軍の內容 寺田幸吉郎 八〇
◉人格修養 實業立志講話 中村德五郎 七五
◉同 常識成功講話 同 七五
◉立志訓 村上專精 一、四〇
◉戰爭乎平和乎 原田竹次郎 一、二〇
◉將士全集第六卷 日記及消息 一、五〇
◉赤穗義士四十七士傳 芦野萬吉 一、八〇
◉俳句の近道 內藤鳴雪 八〇
◉大正六年度當用懷中日記其他日誌全部荷著致候
京城本町二丁目 電話六八四 振替京城二〇八六 大阪屋號書店

客室 食堂 完備 ファミリーホテル 市內四通八達の場所にして庭園廣く眺望絕佳至つて閑靜の地なり 佛蘭西料理調進 宴會は特に御便利に取計可申候 京城南大門通三丁目 電話一二一八番



簞笥、鏡臺、家具、製作販賣 （御注文により御好調製可仕候） 京城本町四丁目 （電車停留所右へ入る半丁） 津村簞笥店 電話二六七〇番

女鳩

渡邊默禪

(一六四) 大波小波

母を救つてくれ！これが秀子の胸の底から出た叫だつた。母を救ひ出してさへくれゝば、自分は満足する。悪魔の手から放れて、凡ての良くない行ひを改める。そして真面目な正しい生活にかへる。といふ彼女の言葉が、正直な鳩子をして譯もなく首肯かせた。鳩子は彼を救ひ出して上げると誓つた。

で、翌る日。叔父の館山子爵が見えた時に、家扶の鈴木と二人が居る前に行つて此事を話した。鈴木は秀子の言つたことを信じなかつた。輝子を釋すとしても、一應吟味をしてうんと膏を絞つてやつて、向後一切秀子に取合はないといふ證書でもとつた上でなければ、と主張した。叔父の子爵は十分鳩子の心を汲みとつて、秀さへ改心したならば、輝子は如何でもよいと思つたけれども、此の妖婦と關係を斷たせないことには秀子の將來が案じられるといふ點について、鈴木と同じ意見だつた。で、兎に角輝子を土藏から出して、嚴重に詰責を加へた上でといふことになつた。

秀子が外人の種であるといふ秘密を知つてゐる者は、住江と大野とより外にない。鳩子は何處までもその秘密を包んでやるのが、秀子の生涯を幸福にしてやる自分の務だと考へた。で、輝子の方のかたがつきさへすれば、住江に向つて秀子は十分謝罪をするであらうし、住江も又た默つてゐてくれるであらうと信じた。大野にしても自分からよく頼んだなら、いつかのような手強い理窟をいはずに、此儘見逃してくれるに相違ないと思つてゐた。併しながら複雜した人の心の機關は、鳩子が思ふやうな、那麼單純な滑車一つで自由に動くものではなかつた。どこまでも微妙なはたらきを持つた天の法則は、意外な所から不思議な力をはこんで來て、鳩子のもくろみを根柢から覆した。破つて了つた。破つたのではない。裏切るやうに見せかけて、その實は鳩子に大きな恵を與へたのだ。眞の平和は決してそんな女らしい心から生れるものではない。醜い物に蓋をするな。底の底から洗ひ落せ、思ひ切つて家庭を潔めろ、と教へたのだ。

その第一は輝子の反抗であつた。彼は鈴木と鳩子とによつて暗い囚れから明るい日影に放たれた時に、ほとんど強いヒステリー患者のやうになつてゐた。何故自分を禁錮した。さア警察へ一緒に行け。司法官の前で不法監禁をした理由を聞くから、と傾足ふんで泣き喚くので、どうとも手が著けられなかつた。

坊が喜ぶ 木村屋パンに 添へてやりましよキヤラメルを (京城明治町 電話二八七〇)

其處へ生駒吉十郎がふらりとやつて來た。實は子爵がお歸りになられたと承はつて、急いで横濱から出て參りました、どんな御容態ですかなど言つて、主の病室に通らうとする廊下先で、姉の輝子がさかんに暴れてゐるのに出會した。彼は驚いた様子で、姉を和めながら別室へ連れて行つた。そして何事か密々と話し合つてゐた。

少頃してから出て來た彼の顏は、嶮しい怒に痙攣つてゐた。直と鈴木と鳩子とに向つて、何故姉を十數日の長い間拘禁なされました。これは小さな問題ではない。法律の上に於て大いに爭ふべき怪事件です。と三百口調で息卷き立てた。

弟といふ加勢ができたので、ますます狂暴の度を昂めた輝子は、ずんずん奥の病室に踏込んで、附添つてゐた看護婦を追ひのけた。さうして伯爵の傍にぴたりと坐つて「私は此の方の奥さんよ。大河野子爵の夫人です。私が來た上はもう誰にも手を著けさせることぢやない。病人の看護は私が爲るから、さア皆な退つて下さい」と怒鳴つた。でもお花だけは動かずに平氣で病褥を守つてゐた。

と、此の際。昨夜神田の宿に戻つた大野勇が、汚ない服を著た一人の坊を連れて、中玄關から入つて來た。

▲産婆 小林カツ 大和町一丁目四十五 電話一一五五番

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商 月本政次郎商店 京城明治町二丁目 電話二二二八番

京染 呉服 京都 たまや出張店 永樂町三丁目 電話一九六

十夜吟

霰 浮碧樓

霰來る葱畑のたかまり
霰するまゝの鰡らの乾き
今日明日と殖ゆる雛卵よ霰 坡柳
○
霰掃き寄せ葉の長さ
山表ては霰ぬかれり
霰の芋莖づかくはね
○
鳴洲に押し合ふ霰來たり 華虹

○落葉のしめり踏み行く霰 乙雨
○裸米量り追はるゝ霰 日池
○霰のまゝ侍び出づ何役用 戸繰の日の霰戸繰る時 鳥堂

新刊紹介

▲闇著虎の卷(十一月號) 二十錢東京市芝區白金三光町四六二帝之日本社
▲少女(十二月號) 十六錢東京市京橋區南町二の一二時事新報社
▲詩苑(三八) 二十錢東京府大久保町四〇〇詩歌社
▲小學新報(十二月號) 八錢東京府中澁谷町三〇九共社
▲嗜好(十一月號) 六錢東京市京橋區銀座一の六明治屋
▲朝鮮鐵道青年(十一月號) 十五錢龍山鐵道構内共會
▲習字と作文(十一月號) 五錢東京府巣鴨町一八六二共社
▲新少年(十二月號) 十二錢東京市神田區三の六平和出版社
▲少年(十二月號) 十六錢東京市京橋區南町二の一二時事新報社
▲謡の友(十一月號) 十五錢東京市神田區樂町二の一二能樂通信社
▲小學生(十二月號) 八錢東京澁谷東京文教社
▲日露實業新報(商況特集號) 露國に於ける日本商品に就て、米露貿易の發展狀態、露國關税策、資源品禁輸法案、日露興信録等(三十錢東京市赤坂區氷川町四共社)
▲樂園(創刊號) 夢判じ、朝鮮の賓客婦、花柳界の秘訣、見合の秘訣、狐に化された話等讀むべき種のもの多し(十七錢東京市京橋區南鍛冶町一七文藝社)
▲ながさき(十二) 長崎俳人の機關俳誌(五錢長崎市東古川町俳句知會)
▲滿蒙實業界(立太子禮奉祝號) 日本に於ける殖民政策上の弱點(後藤男)製鹽事業の將來と滿鮮の新製業(押川則吉)朝鮮の産業(石塚英藏)東拓の新設政策(第〇衛生人)滿洲に於ける朝鮮人の概況(石井菊次郎)如何にして滿鮮は發見せらるゝか(木戸忠太郎)等の外滿鮮實業界報等如例(三十錢大連市伊勢町八共社)
▲滿蒙實業彙報(十一月號) 滿洲に於ける最近製糖事業、滿洲に於ける我獎業に就ての二論文及び奉天各國に於ける南滿洲精糖會社創立、關東州燐礦產業、大連港貿易概況、三線聯絡運賃割引實施、十月中の銀塊及び爲替相場、滿鐵運輸概況其他商況、雜錄等如例卷末に統計表四十二頁を附す(二十五錢大連商業會議所)
▲講談落語娯樂世界(十二月號) 英朗の卷頭口繪及び阿波の鳴門其他の講談落語其他小說等如例(二十五錢東京市日本橋區スキヤ町九共社)

外科 花柳病科 内科 皮膚科 院長 正六位勳四等 島崎龍一 京城旭町二丁目(本通りより左に入る) 島崎病院 電話二七三六番

衛生と滋養に富む 人蔘キヤラメル 年玉は南大門 名物 六太郎餅 驛前 電話二三六七番

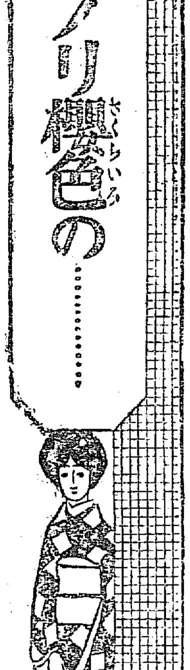
◎旭硝子會社の光榮 一昨年來板硝子の本邦輸入杜絶により一時に其存在を認識せられたる三菱經營の旭硝子株式會社に對して九州御駐蹕の聖上陛下には産業御奬勵の思召を以て今般海江田侍從を同社戸畑分工場に御差遣ありたり

◎ホーカー白粉の寶行 ホーカー液本舗として有名なる東京和泉橋柳越露太郎商店に於て今夏發賣したるホーカー白粉は同店研究部に於て永年苦心研究の結果創製せられたるものなるが其品質の優秀にして婦人の皮膚に得難き艶美を與へツキ、ノリ、ノビよく直に生れつきの美人の如く意の儘にお化粧の出來ることとて近來非常なる好評を博し東京の貴婦人令嬢間にその愛用日盛しく爲めに本舗は日夜製造に忙殺されつゝありと

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應候 京城日報社 寫眞製版部

お顏にホンノリ櫻色の……
健康色を與ふる
クラブ頰紅

效用
生地まで白くなるクラブ白粉でお化粧遊ばした後、目の下から頰へかけ、此のクラブ頰紅を薄く刷いてお延ばしになりますと、お顏の色がホンノリと櫻色になり、健康らしい、花やかな生彩が現はれて參りますから、一般御婦人のお化粧……殊にお顏の色の蒼白い方には別して珍重されて居ります。



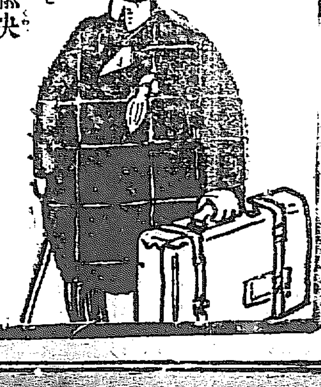
内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二〇九番

醇良無双清酒 無害衛生 品質無双 首藤合名會社吟造 精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 味噌 甲鳥萬 シトロン 三矢ギンイサイダー 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

男の生殖器病 生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、脳神經衰弱などの人は自宅で簡單に治療し得べき一回毎に效力が現はれ豫想外の偉效に驚くべく某因療藥を併用する時は一層質驗諸氏の賞讃が多いが知名博士も其質效を證明し所に院部にて懇切に説明す 入説明書無代寄送す直接來所者には座右に申込あれ圖 東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京 眞空療法研究所

營業品目 罐詰 乾物 海産物 雑穀 清酒 銘茶 漆器 家具 文具 紙 荒物 履物 金物 農具 石炭 陶器 石油 磁器 洗濯石鹸 洋釜 日本釜 京城井 サバリ 提灯 蒲團綿 中入綿 小袖綿 鐵火鉢 箱火鉢 飯ビツ 仁川新町 津田兒弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八番 仁川宮町 津田兒弟屋支店 京城本町 津田兒弟屋支店

消毒と毒けし 仁丹 ▼旅行に仁丹 イツモ愉快 金言 智者は既往を推して將來を知る (ソフラクリス)



大阪期米(十七日) 仁川期米 活況 ▲大に賣る ▲休日越しの如何